

平成 29 年度 専門学校における留学生受入れ等実態 に関するアンケート調査

アンケート結果 中間報告

2018 年 3 月

本資料は、文部科学省委託「平成 29 年度 専修学校グローバル化対応推進支援事業」として、株式会社三菱総合研究所が実施した「平成 29 年度 専門学校における留学生受入れ等実態に関するアンケート調査」の結果を、調査にご協力いただいた専門学校に送付することを目的に中間報告として取りまとめたものです。

目次

1. 調査概要	1
1.1 目的	1
1.2 実施概要	1
2. 調査結果	3
2.1 概要	3
2.2 集計結果	4
2.2.1 学校について	4
2.2.2 留学生の在籍状況等について	6
2.2.3 留学生の募集、広報、選抜について	16
2.2.4 留学生の学習状況等について	20
2.2.5 学習、生活等に対する支援状況について	22
2.2.6 留学生による企業内実習の参加実績について	24
2.2.7 留学生の就職状況等について	26

参考資料（調査票）

目 次

図 2-1	分野別の留学生の受入れ学科（数値記入）	4
図 2-2	悪化系統別の留学生の受入れ学科（数値記入）	5
図 2-3	留学生担当の教職員数（数値記入）	5
図 2-4	学校全体の学生数（数値記入）	6
図 2-5	留学生の在籍有無（単数選択）	6
図 2-6	今後の留学生受入れ方針（留学生が在籍している学校）（単数選択）	6
図 2-7	修業年限別の留学生（数値記入）	7
図 2-8	今後の留学生受入れ方針（留学生が在籍していない学校）（単数選択）	7
図 2-9	留学生が在籍していない理由（複数選択）	7
図 2-10	出身国・地域別の入学経路（入学者数ベース）（数値記入）	8
図 2-11	出身国・地域別の最終学歴（入学者数ベース）（数値記入）	9
図 2-12	出身国・地域別の入学経路（在籍者数ベース）（数値記入）	10
図 2-13	出身国・地域別の最終学歴（在籍者数ベース）（数値記入）	11
図 2-14	出身国・地域別の留学生の割合（入学者数ベース）（数値記入）	12
図 2-15	分野別の留学生の割合（入学者数ベース）（数値記入）	12
図 2-16	漢字圏・非漢字圏における分野別の留学生割合の比較（入学者数ベース）（数値記入）	12
図 2-17	学科系統別の出身国・地域（入学者数ベース）（数値記入）	13
図 2-18	出身国・地域別の留学生の割合（在籍者数ベース）（数値記入）	14
図 2-19	分野別の留学生の割合（在籍者数ベース）（数値記入）	14
図 2-20	漢字圏・非漢字圏における分野別の留学生割合の比較（在籍者数ベース）（数値記入）	14
図 2-21	学科系統別の出身国・地域（在籍者数ベース）（数値記入）	15
図 2-22	学科系統別の留学生の割合（入学・在籍者数の双方）（数値記入）	16
図 2-23	留学生募集に関する計画や方針の有無（単数選択）	16
図 2-24	募集を積極的に進めたいと考える学生の出身国・地域の割合（複数選択）	17
図 2-25	具体的な募集方法（複数選択）	18
図 2-26	留学生の入学選抜にあたっての確認点（複数選択）	19
図 2-27	留学生の日本語能力に関する選抜基準（複数選択）	19
図 2-28	日本語学校に対する指定校制度の有無（単数選択）	20
図 2-29	入学者が最も多く利用している奨学金制度の種類（単数選択）	20
図 2-30	日本人学生と比較した留学生の学習状況等（それぞれ単数選択）	20
図 2-31	留学生の中途退学者数（数値記入）	21
図 2-32	留学生の中途退学者数（平成 28・29 年度計）（数値記入）	21
図 2-33	留学生の日本語能力の充足度（単数選択）	21
図 2-34	学習・生活等の面での留学生に対する支援（複数選択）	22
図 2-35	日本語能力向上のために実施している対策（複数選択）	22
図 2-36	留学生のアルバイト指導及び実態把握状況（複数選択）	23
図 2-37	留学生が期待していると考えられる支援（複数選択）	23
図 2-38	直近 2 年間における留学生の企業内実習への参加実績（複数選択）	24
図 2-39	留学生の企業内実習の受入れ企業等の増減に対する認識（単数選択）	24
図 2-40	留学生が参加可能な企業内実習の受入企業開拓のための取組（複数選択）	25
図 2-41	企業内実習の実施上の課題、あるいは企業内実習への参加実績がない理由（複数選択）	25
図 2-42	漢字圏／非漢字圏、学科系統別の進路（数値記入）	26
図 2-43	漢字圏／非漢字圏、学科系統別の進学先（数値記入）	27
図 2-44	職種別の就職者の割合（数値記入）	28
図 2-45	留学生の採用企業等の増減に対する認識（単数選択）	30
図 2-46	留学生の就職支援策（複数選択）	30

図 2-47	就労ビザが下りなかったケースの有無（単数選択）	30
図 2-48	留学生の受入れ等の促進にあたり解決すべき課題（上位 3 つまで選択）	31
図 2-49	今後具体的に取り組みたい活動（複数選択）	31

表 目 次

表 1-1	調査項目	1
表 1-2	調査対象別の回収結果	2
表 2-1	漢字圏／非漢字圏、学科系統別の職種別就職者数（数値記入）	29

1. 調査概要

1.1 目的

専修学校（専門課程）（以下、専門学校という）に在籍する外国人留学生は近年、急増しており、グローバル化に対応した人材育成を専門学校で適切に進めていくためには、各学校における留学生の在籍管理が引き続き適切に行われるとともに、専門学校全体として、留学生の円滑な受入れと就職のケアも含め、質・量ともに充実した教育体制を整えておくことが急務となっている。

このような背景のもと、専門学校の魅力を国際的に発信するとともに、優秀な外国人留学生の受入促進や留学環境の整備のため、専門学校に係る留学状況等に関する継続的な実態把握を目的に、アンケート調査を実施した。

1.2 実施概要

(1) 調査件名

平成 29 年度 専門学校における留学生受入れ等実態に関するアンケート調査

(2) 調査方法

郵送法によるアンケート調査（一部、電子媒体で回収）

(3) 調査項目

主な調査項目を以下に示す（調査票は巻末参考資料参照）。

表 1-1 調査項目

区分	項目
基本属性	留学生の受入れ学科、留学生担当の教職員数、学生数 など
留学生在籍状況	留学生在籍有無、受入れ方針、留学生数（修業年限、入学経路、母国での最終学歴、学科系統、出身国別） など
留学生の募集、広報、選抜	募集計画・方針の有無、受入れ推進対象国・地域、募集方法、入学選抜時の確認点、日本語能力の選抜基準、指定校制度の有無、奨学金制度 など
留学生の学習状況等	日本人学生との比較、中途退学者数、日本語能力のレベル など
留学生の学習、生活等に対する支援状況	支援状況、日本能力向上のための対策、アルバイトの指導・把握状況 など
企業内実習の参加実績	企業内実習の種別参加実績、受入れ企業等の動向、受入れ企業開拓のための取組、企業内実習実施上の課題 など
就職状況等	就職実績（学科系統、進路内訳、職種別）、採用企業等の動向、就職支援実施状況・課題、就労ビザがおりなかった事例 など

(4) 調査期間

2017 年 12 月 6 日～2018 年 1 月 15 日（途中、未回答団体に対し督促状を送付）

(5) 回収結果

配布数、回収数、及び回収率は以下のとおり。

表 1-2 調査対象別の回収結果

配布数	回収数	回収率
2,817	1,738	61.7%

2. 調査結果

2.1 概要

- 学校について
 - ✓ 留学生の受入れ学科は、工業（21.1%）、文化・教養（19.6%）、医療（17.6%）が順であった。
- 留学生の在籍状況等について
 - ✓ 留学生が在籍している学校（以下、在籍校）は3割以上であった。
 - ✓ 在籍校における今後の留学生の受入れ方針については、「増員する方針」「現状と同様に受入れる方針」の学校が合わせて9割であった。
 - ✓ 入学経路は、日本語教育機関の経由がほとんどであった（84.2%）。
 - ✓ 母国での最終学歴は、漢字圏（中国、台湾、韓国）は、非漢字圏（中国、台湾、韓国以外の国）に比べて大学卒の割合が大きかった。
 - ✓ ベトナムの留学生（入学者数）がもっとも多く（39.6%）、次いで中国（23.3%）、ネパール（18.0%）であった。漢字圏からの留学生の割合は低下傾向で、一方、ベトナム・ネパールからの留学生の割合は増加傾向にあった。
 - ✓ 学科系統別の在籍状況は、ビジネス・経理系に在籍している留学生がもっとも多く（24.8%）、次いで日本語系（18.5%）、IT・情報処理系（8.4%）であった。
- 留学生の募集、広報、選抜について
 - ✓ 在籍校では、受入れ計画を作成していない学校が6割を超えた。
 - ✓ 今後、募集を積極的に進めたいと考える出身国・地域は、中国（34.5%）、ベトナム（30.7%）と台湾（29.2%）の順であった。
 - ✓ 公的な奨学金を利用している在籍校は39.9%で、留学生が奨学金を使用していない学校は33.4%であった。
- 留学生の学習状況等について
 - ✓ 授業を進める上で、留学生の日本語能力が足りているかどうかについては、肯定的な評価と否定的な評価は二分された。
 - ✓ 留学生に対する評価は、日本人学生に比べ、出欠状況と学習意欲において高く、授業の理解度と成績は低かった。
- 学習、生活等に対する支援状況について
 - ✓ 「学習支援（日本語）」（60.3%）がもっとも多く、次いで「奨学金の紹介・提供」、「留学生担当部署の設置」（各約43%）、「住宅の紹介・宿舎の提供等」、「生活実態の状況把握に基づく対策の実施」（各40約%）の順であった。
- 留学生による企業内実習の参加実績について
 - ✓ 直近2年間で留学生がいずれの企業内実習にも参加していない学校は約4割で、実施上の課題、あるいは企業内実習への参加実績がない理由は、「企業等の協力を確保できない」（25.7%）、「企業等との連絡・調整が負担となる」（18.2%）の順であった。
- 留学生の就職状況等について
 - ✓ 進路は、日本での進学（43.8%）、日本での就職（29.7%）、帰国（10.7%）の順であった。
 - ✓ 漢字圏の留学生は、日本での就職の割合が非漢字圏に比べて高かった。
 - ✓ 就職した留学生の就職先種別は、販売営業（17.5%）、技術開発（情報処理以外）（15.6%）、技術開発（情報処理）（12.6%）の順であった。
 - ✓ 留学生を採用したいという企業は「増えている」「やや増えている」と回答した学校が半数以上であった。

2.2 集計結果

以下にアンケート調査の単純集計結果を示す¹。

2.2.1 学校について

(1) 留学生の受入れ学科

問 1 留学生を受入れる学科について、回答例をご参考のうえ、該当する学科系統に、学科数と学科名をご記入ください。(数値と学科名記入)

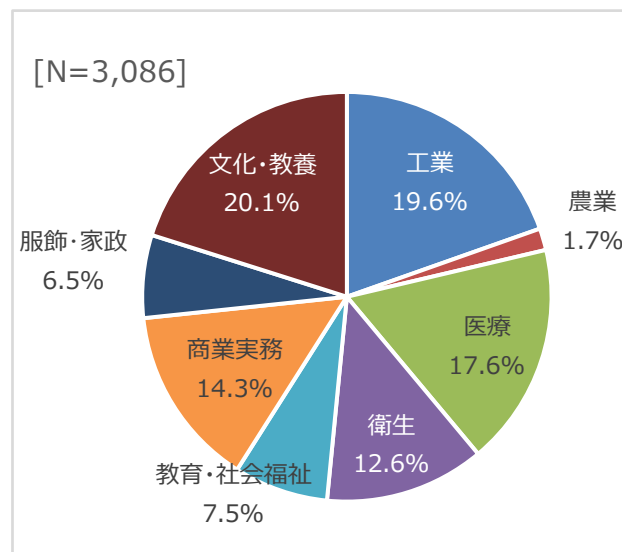


図 2-1 分野別の留学生の受入れ学科（数値記入）

¹ 本アンケートは、入学者と在学者について、修業年限別や入学経路別、最終学歴別、学科系統別、出身国・地域別などさまざまな観点から設問を設定したが、回答校側のデータの整備状況が異なること等により、設問により回答数が異なる。

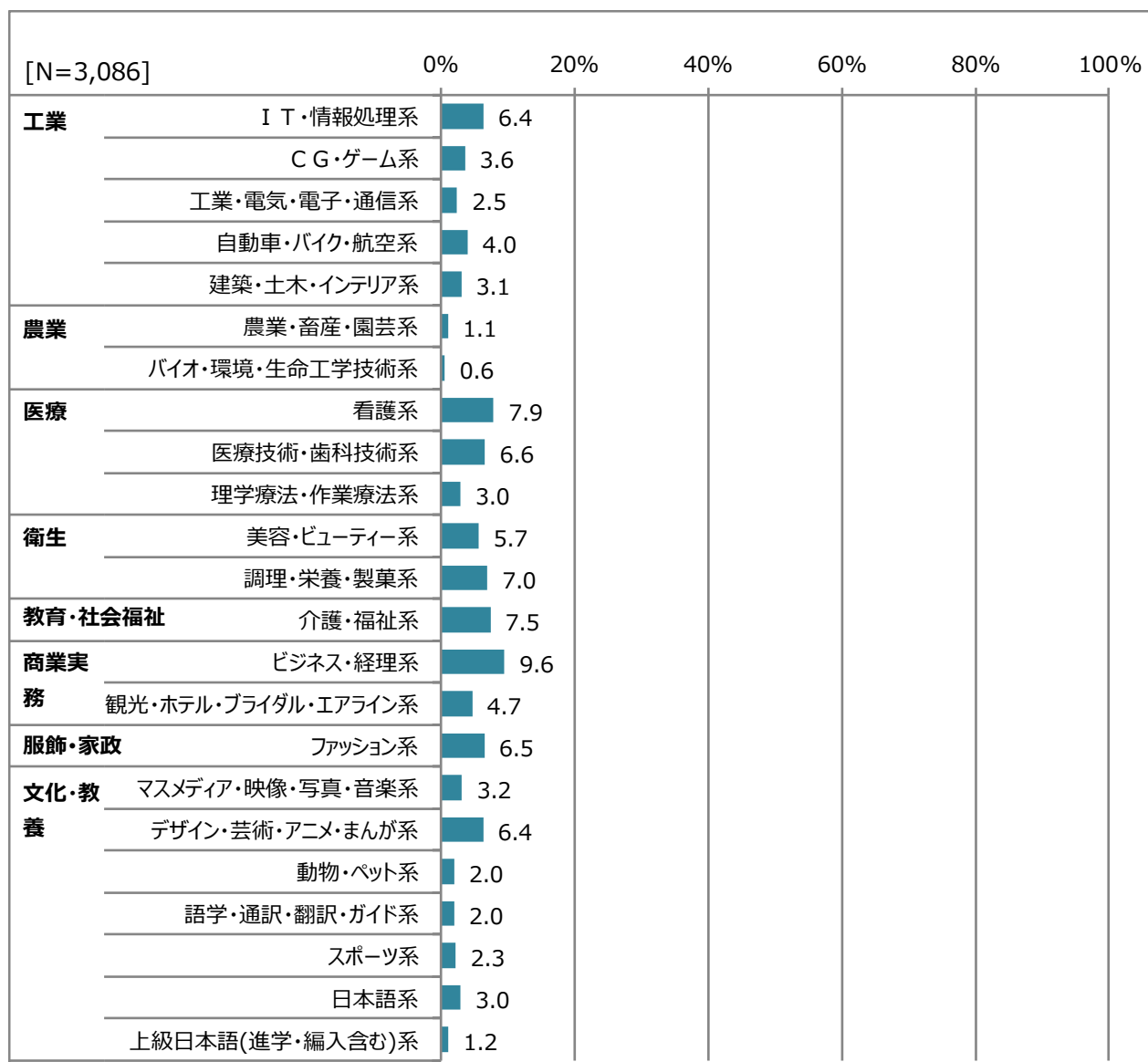


図 2-2 悪化系統別の留学生の受入れ学科（数値記入）

(2) 留学生担当の教職員数

問 2 留学生担当の教職員数についてお答えください。（数値記入）

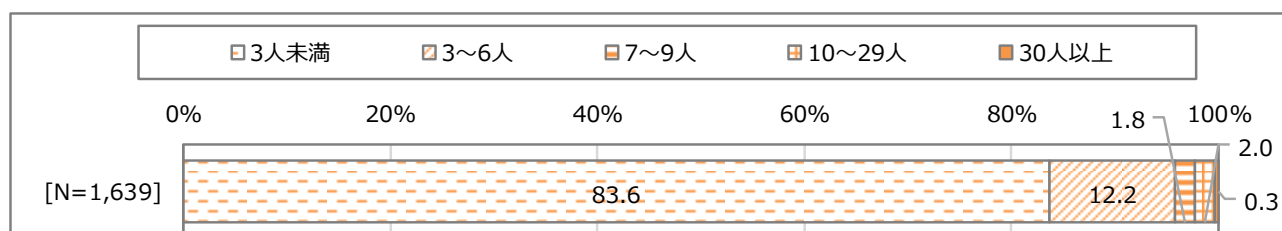


図 2-3 留学生担当の教職員数（数値記入）

(3) 学校全体の学生数

問 3 学校全体の学生数についてお答えください。(数値記入)

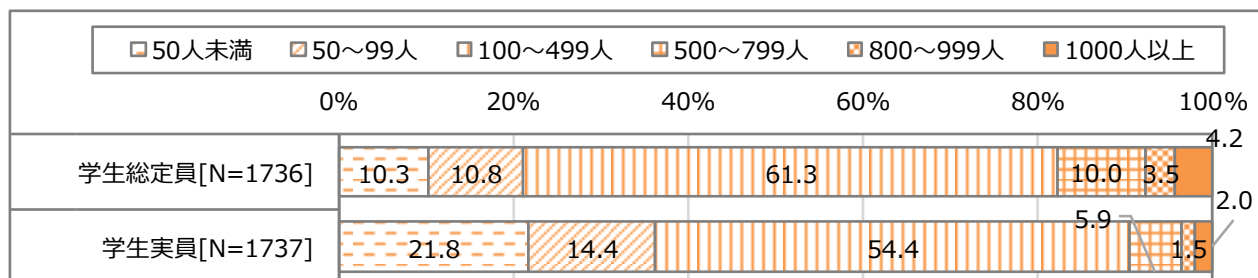


図 2-4 学校全体の学生数（数値記入）

2.2.2 留学生の在籍状況等について

(1) 留学生の在籍状況

問 4 留学生の在籍状況についてお答えください。(単数選択)

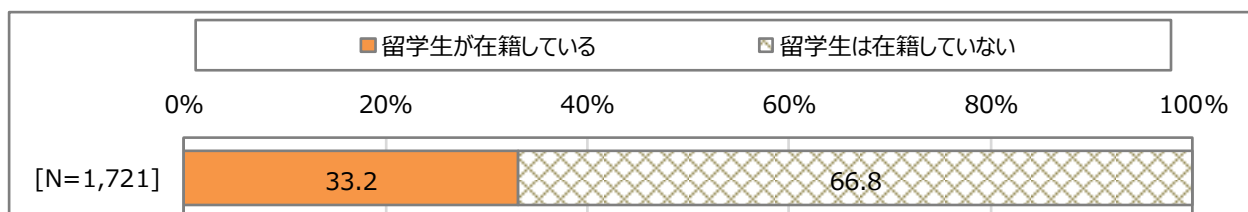


図 2-5 留学生の在籍有無（単数選択）

(2) 今後の留学生の受入れに関する方針（在籍校）

問 5 （問 4 で「1. 留学生が在籍している」と回答された方に伺います）今後の留学生の受入れに関する方針に最も近いものを 1 つ選択してください。(単数選択)

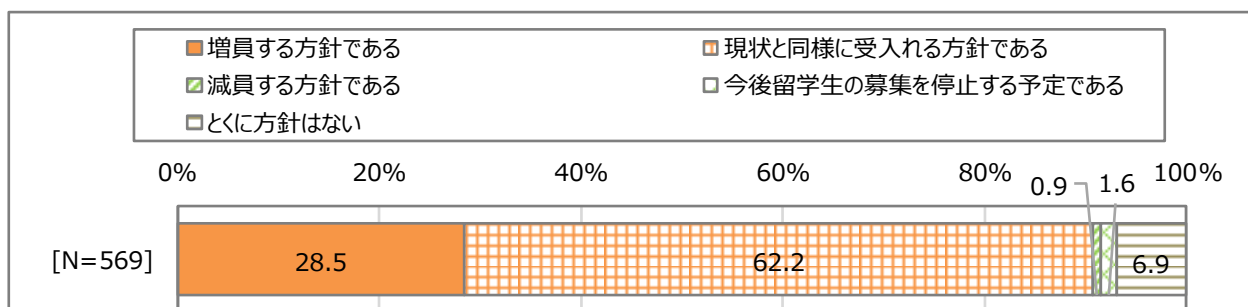


図 2-6 今後の留学生受入れ方針（留学生が在籍している学校）（単数選択）

(3) 留学生の修業年限別人数

問 6 （問 4 で「1. 留学生が在籍している」と回答された方に伺います）現在在籍している留学生の修業年限別人数を記入してください。（数値記入）

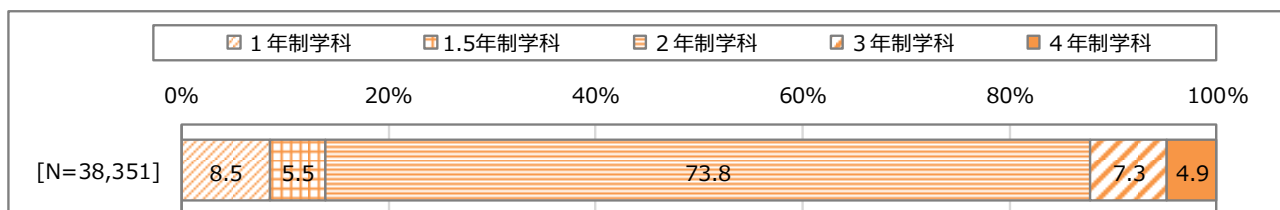


図 2-7 修業年限別の留学生（数値記入）

(4) 今後の留学生の受入れに関する方針（留学生が在籍していない学校）

問 7 （問 4 で「2. 留学生は在籍していない」と回答された方に伺います）今後の留学生の受入れに関する方針に最も近いものを 1 つ選択してください。（単数選択）

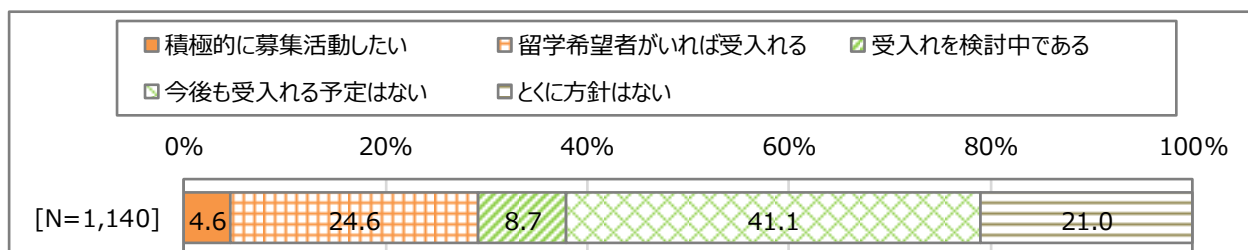


図 2-8 今後の留学生受入れ方針（留学生が在籍していない学校）（単数選択）

(5) 留学生が在籍していない理由

問 8 （問 4 で「2. 留学生は在籍していない」と回答された方に伺います）留学生が在籍していない理由をお答えください。（複数選択）

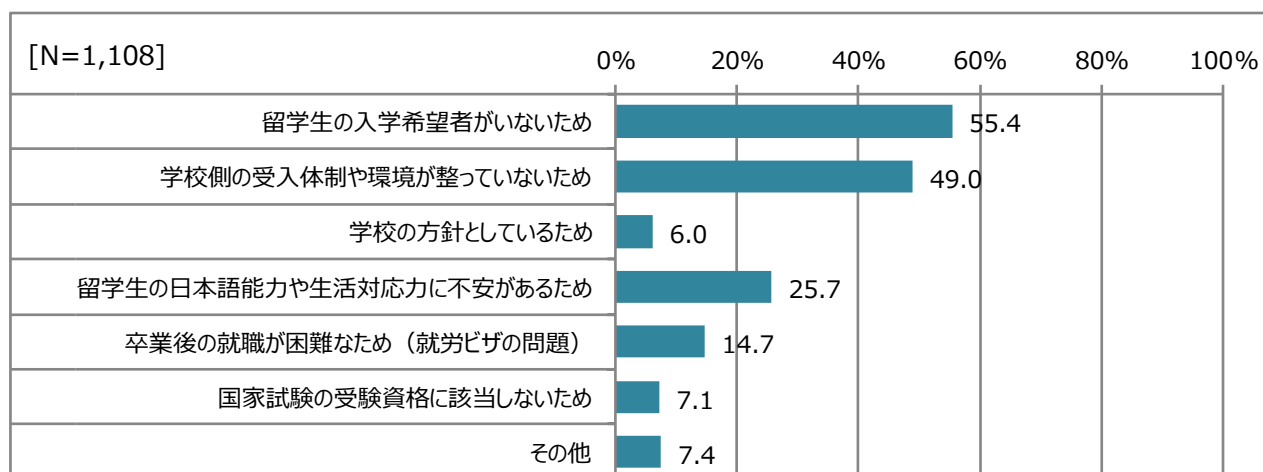
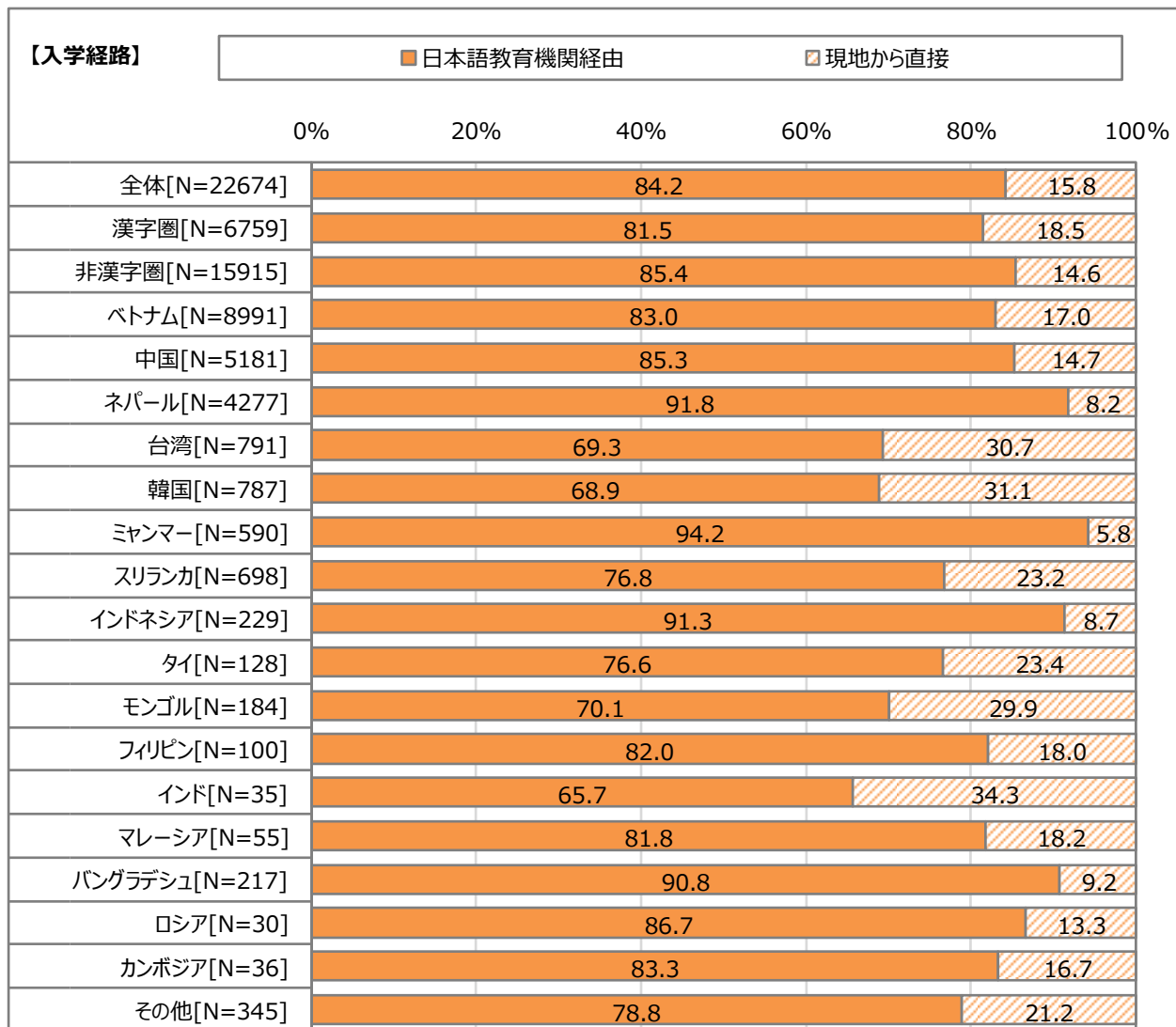


図 2-9 留学生が在籍していない理由（複数選択）

(6) 出身国、入学経路、母国での最終学歴別の留学生の入学者数と在籍者数（全学年）

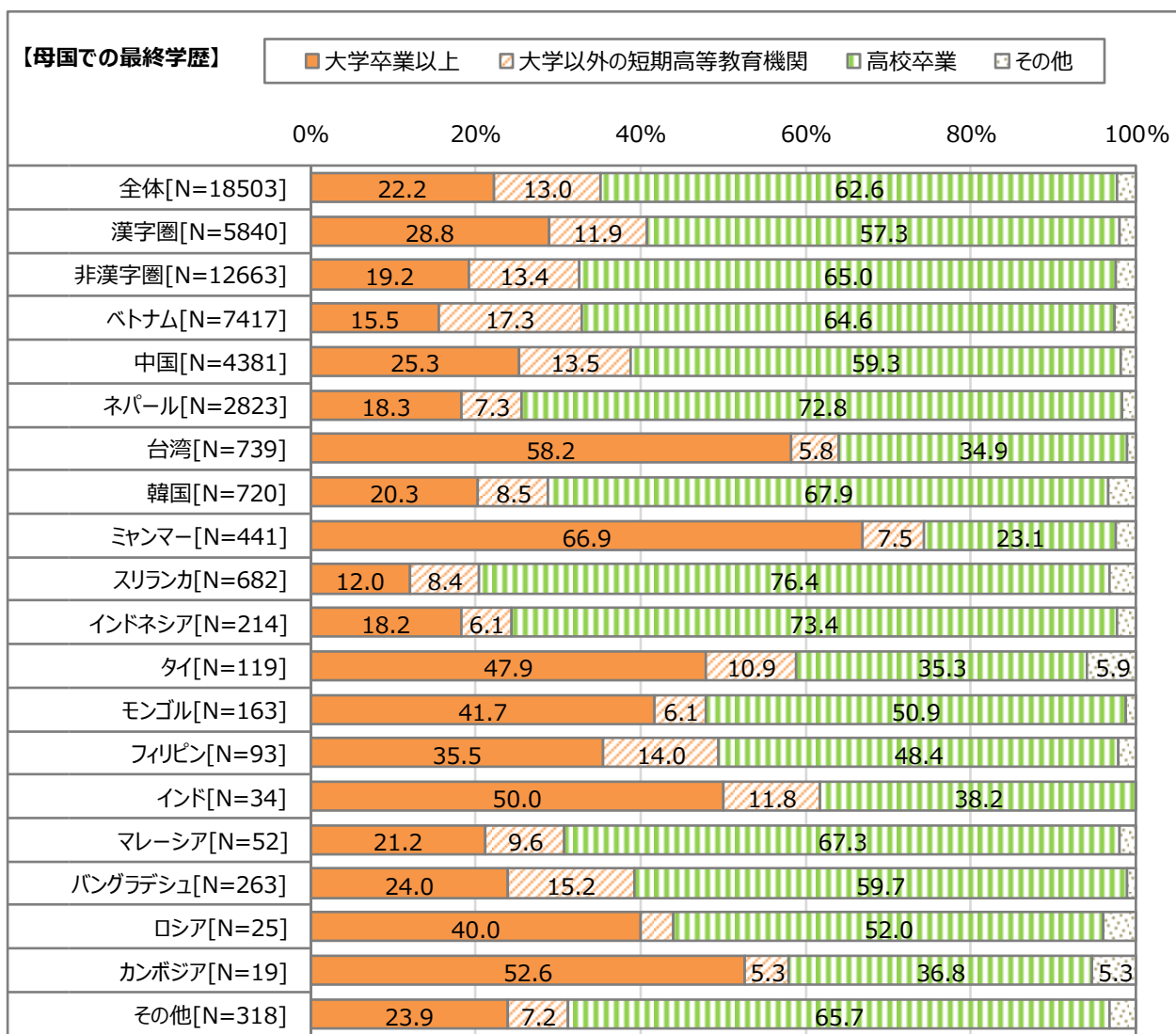
問 9 出身国別に、入学経路、母国での最終学歴について留学生の入学者数と在籍者数（全学年）（いずれも平成 29 年 5 月 1 日現在）をご記入ください。（数値記入）

（入学者）



注) N 数が少ない回答結果は、母数を代表していない可能性が推測されるため、参考値として解釈する必要がある。
（以下、同様）

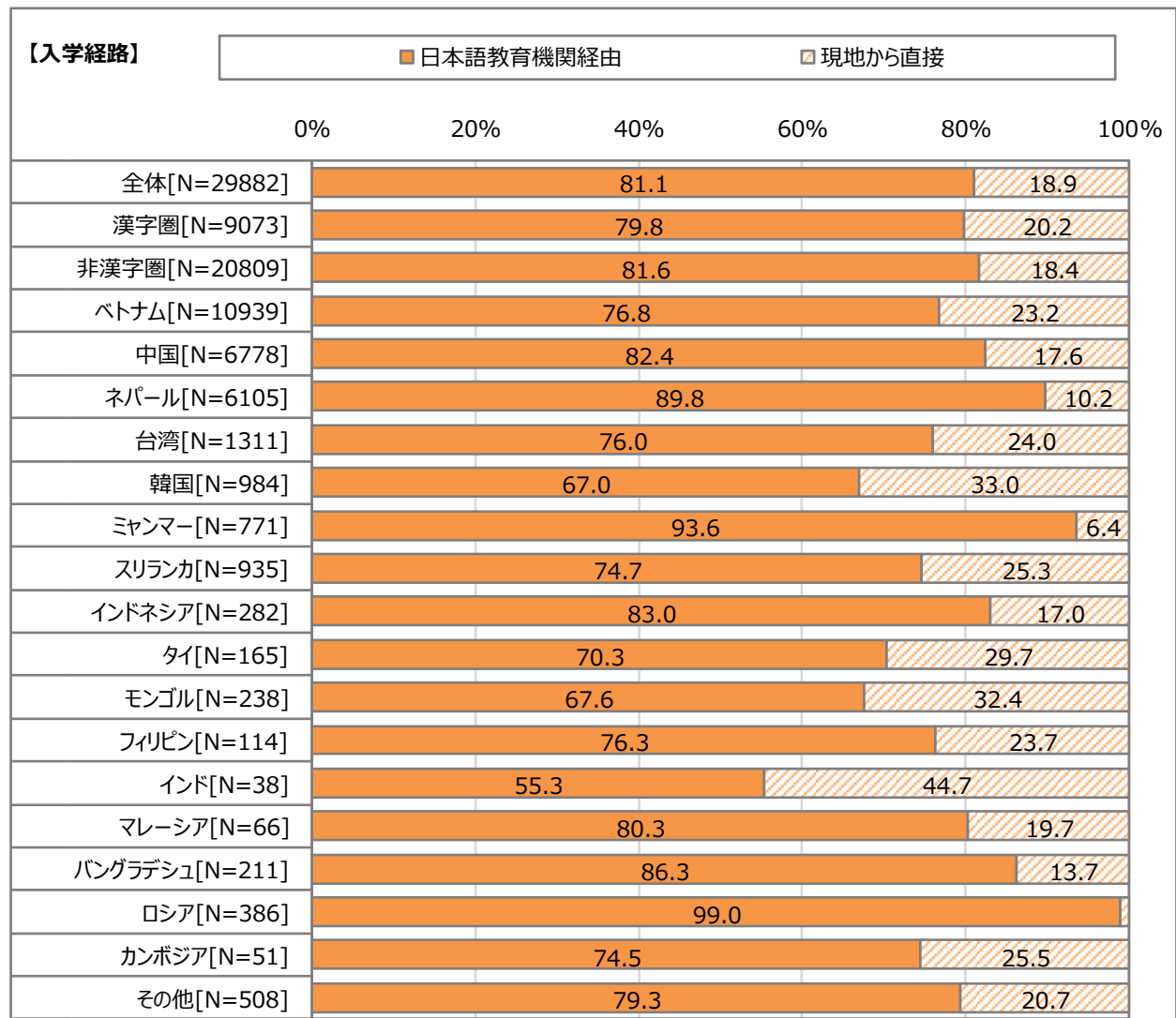
図 2-10 出身国・地域別の入学経路（入学者数ベース）（数値記入）



注) 割合が5%未満の数値は非表示

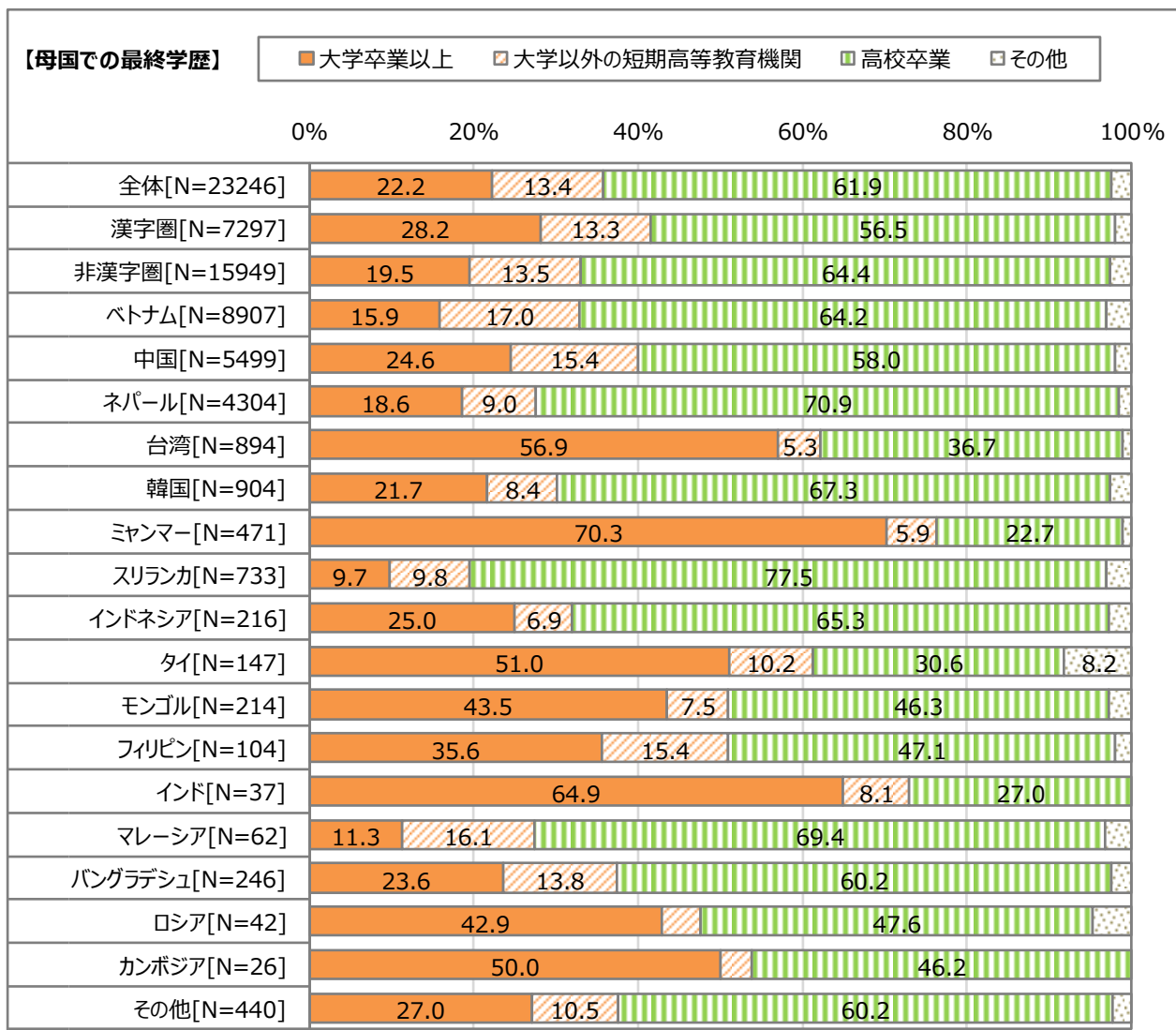
図 2-11 出身国・地域別の最終学歴（入学者数ベース）（数値記入）

(在籍者)



注) 割合が5%未満の数値は非表示

図 2-12 出身国・地域別の入学経路（在籍者数ベース）（数値記入）



注) 割合が5%未満の数値は非表示

図 2-13 出身国・地域別の最終学歴（在籍者数ベース）（数値記入）

(7) 学科系統別の留学生の入学者数と在籍者数（全学年）

問 10 学科系統別の留学生の入学者数と在籍者数（全学年）（いずれも平成 29 年 5 月 1 日現在）をご記入ください。（単位：人）（数値記入）

（入学者）

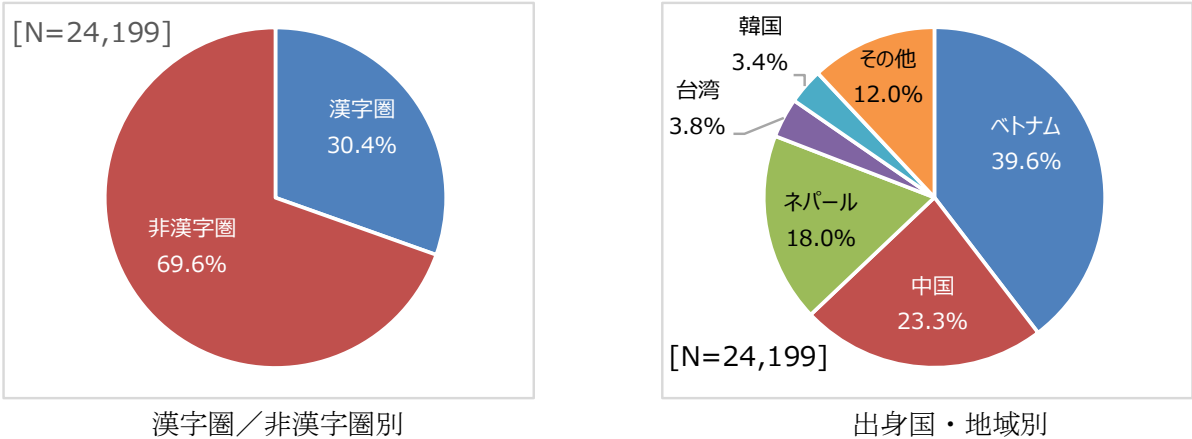


図 2-14 出身国・地域別の留学生の割合（入学者数ベース）（数値記入）

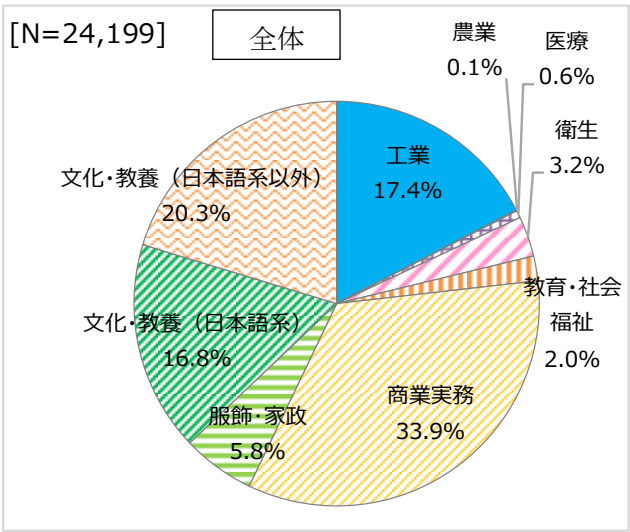
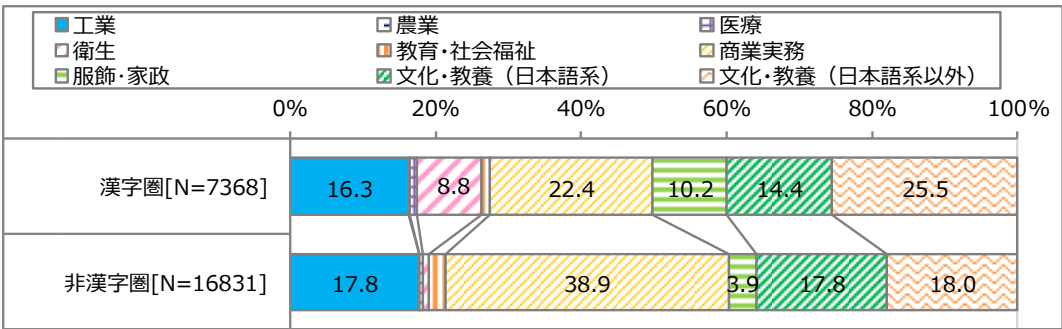
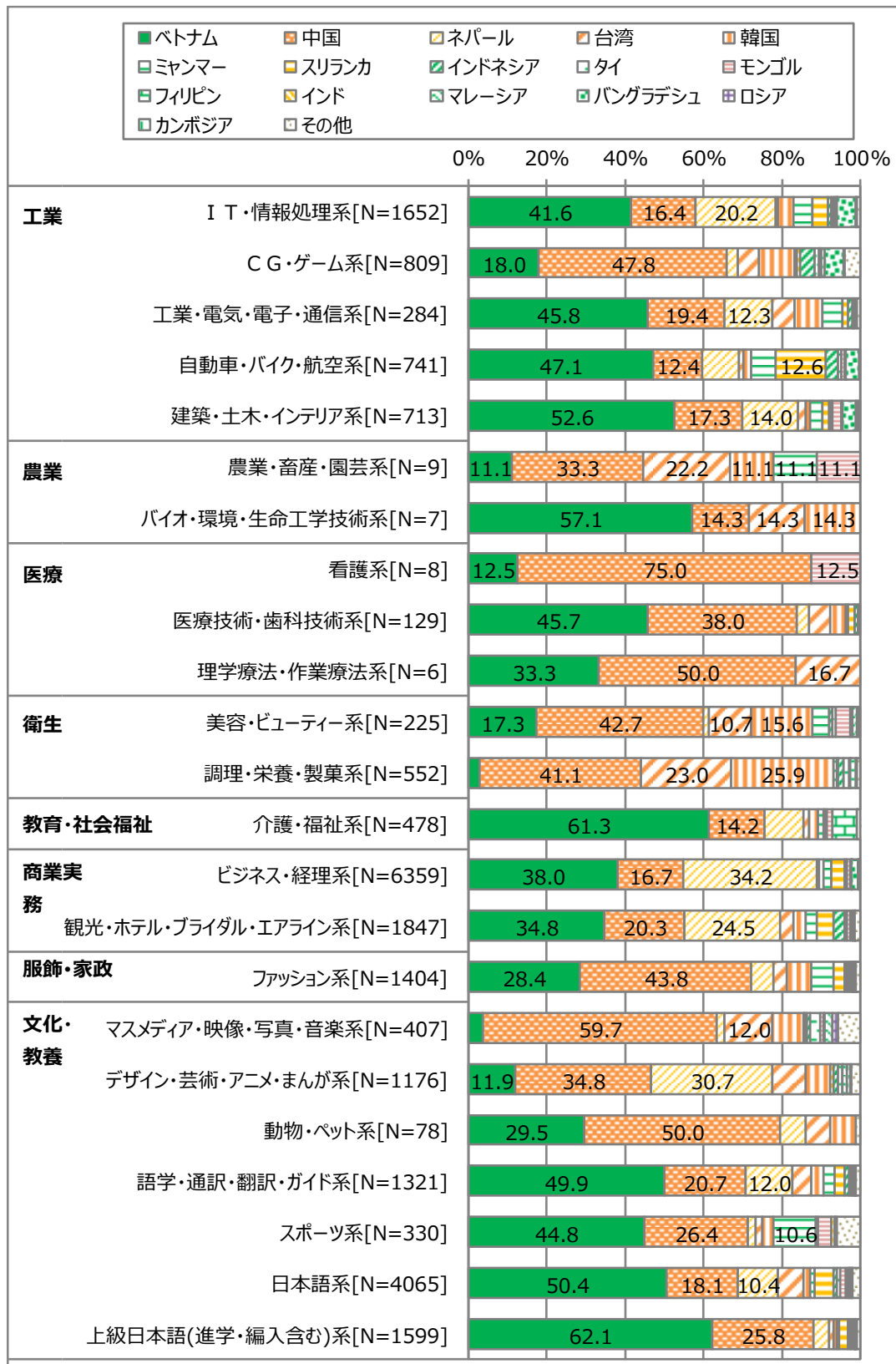


図 2-15 分野別の留学生の割合（入学者数ベース）（数値記入）



注）割合が 3%未満の数値は非表示

図 2-16 漢字圏・非漢字圏における分野別の留学生割合の比較（入学者数ベース）（数値記入）



注) 割合が 10%未満の数値は非表示

図 2-17 学科系統別の出身国・地域（入学者数ベース）（数値記入）

(在籍者)

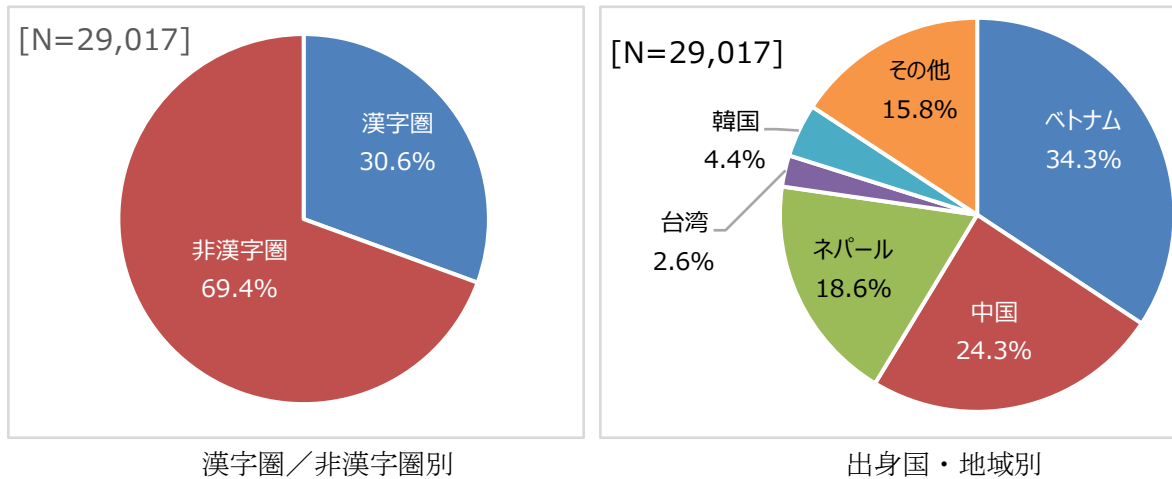


図 2-18 出身国・地域別の留学生の割合（在籍者数ベース）（数値記入）

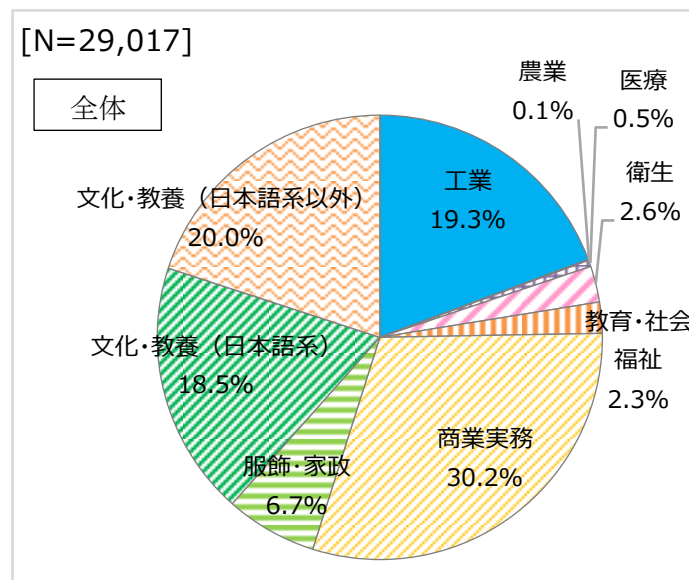
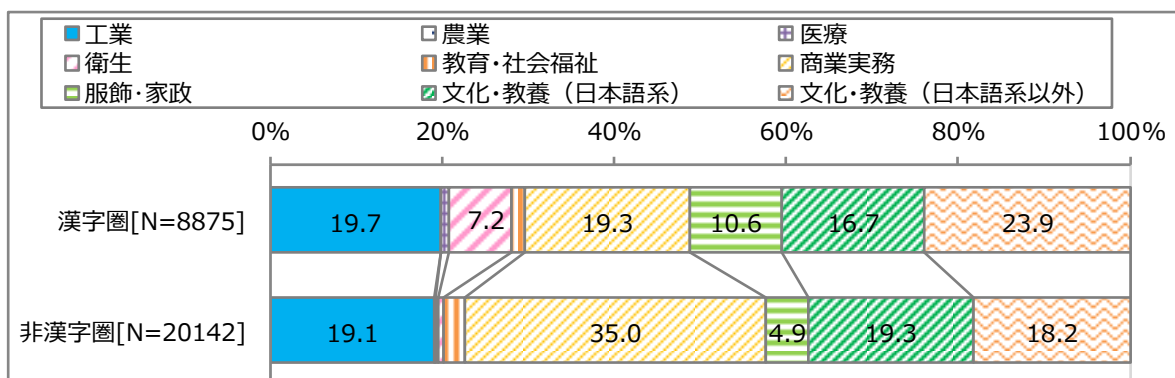
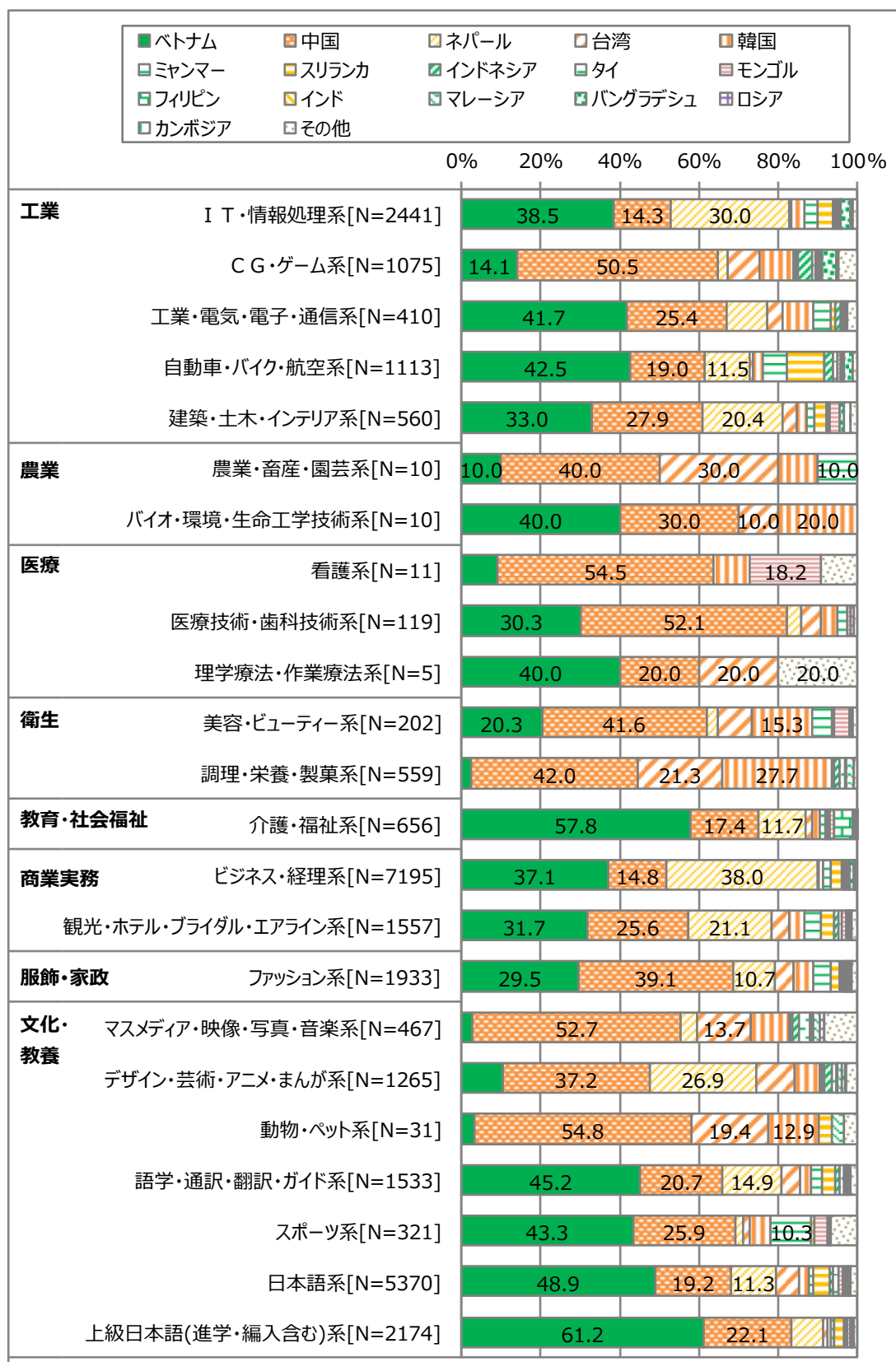


図 2-19 分野別の留学生の割合（在籍者数ベース）（数値記入）



注）割合が3%未満の数値は非表示

図 2-20 漢字圏・非漢字圏における分野別の留学生割合の比較（在籍者数ベース）（数値記入）



注) 割合が 10%未満の数値は非表示

図 2-21 学科系統別の出身国・地域（在籍者数ベース）（数値記入）

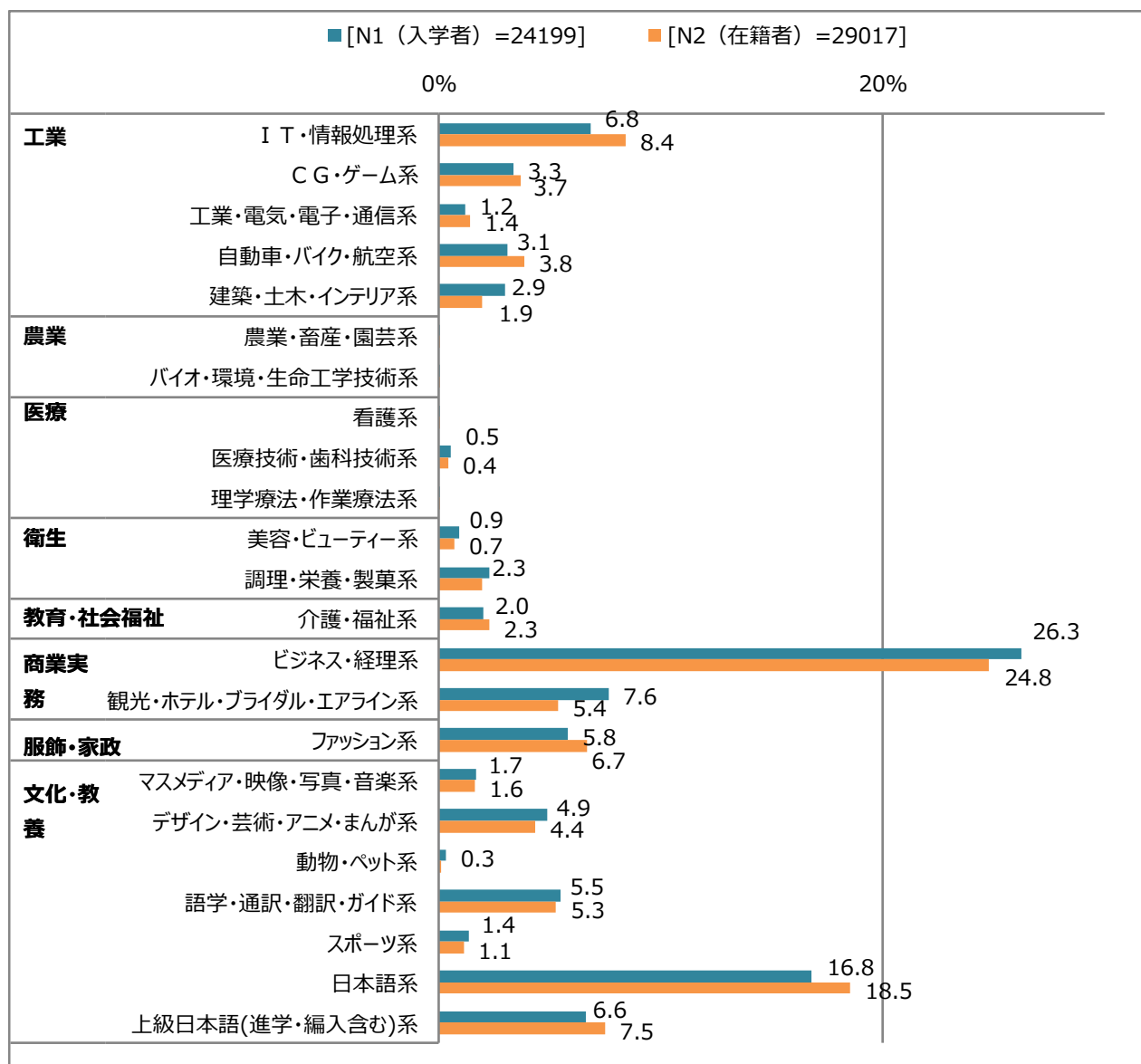


図 2-22 学科系統別の留学生の割合（入学・在籍者数の双方）（数値記入）

2.2.3 留学生の募集、広報、選抜について

(1) 留学生の募集に関する計画や方針の有無

問 11 留学生の募集に関する計画や方針の有無をお答えください。（単数選択）

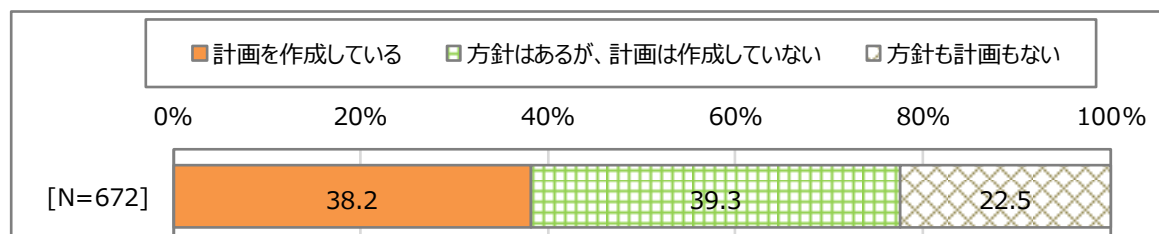


図 2-23 留学生募集に関する計画や方針の有無（単数選択）

(2) 募集を積極的に進めたいと考える学生の出身国・地域

問 12 今後、募集を積極的に進めたいと考える学生の出身国・地域を教えてください。(複数選択)

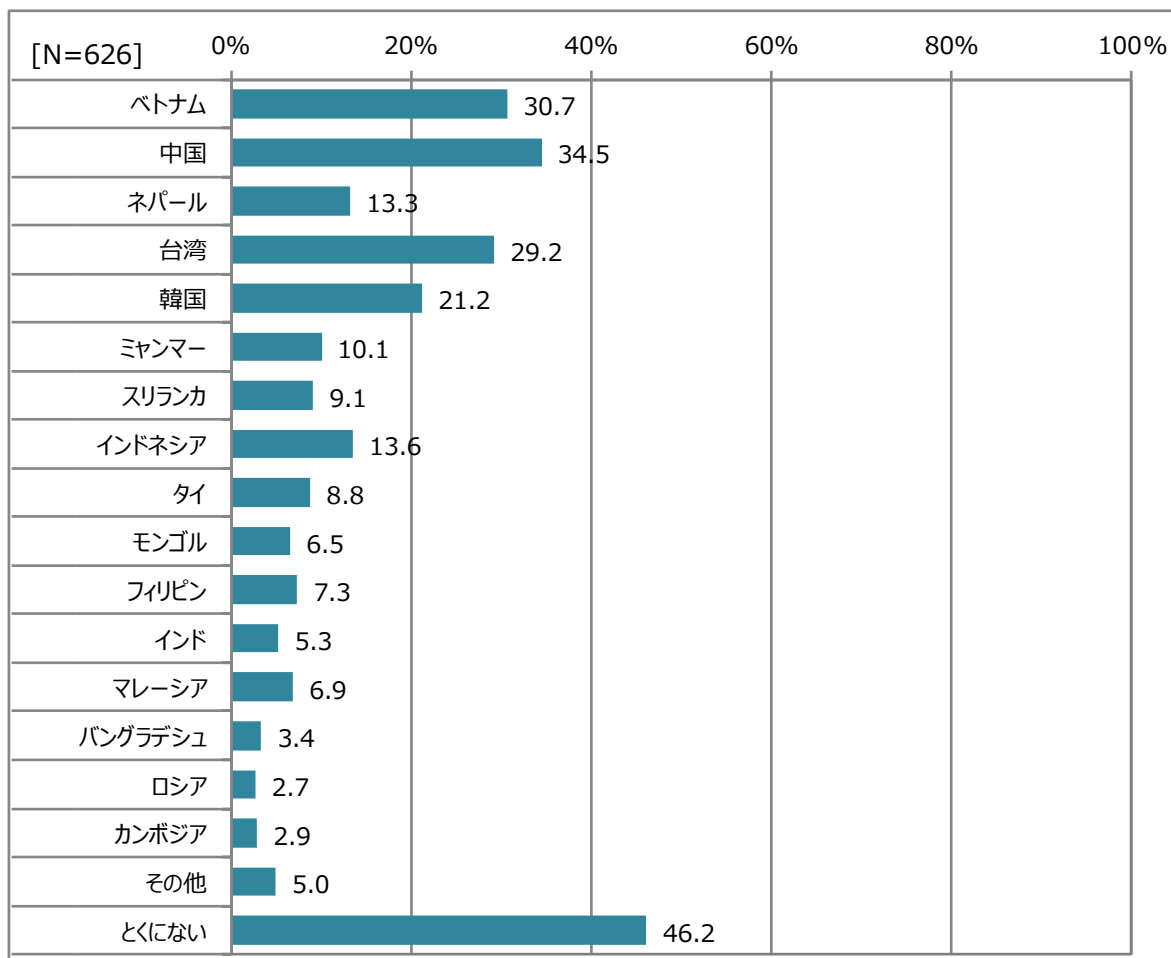


図 2-24 募集を積極的に進めたいと考える学生の出身国・地域の割合 (複数選択)

(3) 具体的な募集方法

問 13 具体的な募集方法を教えてください。（複数選択）

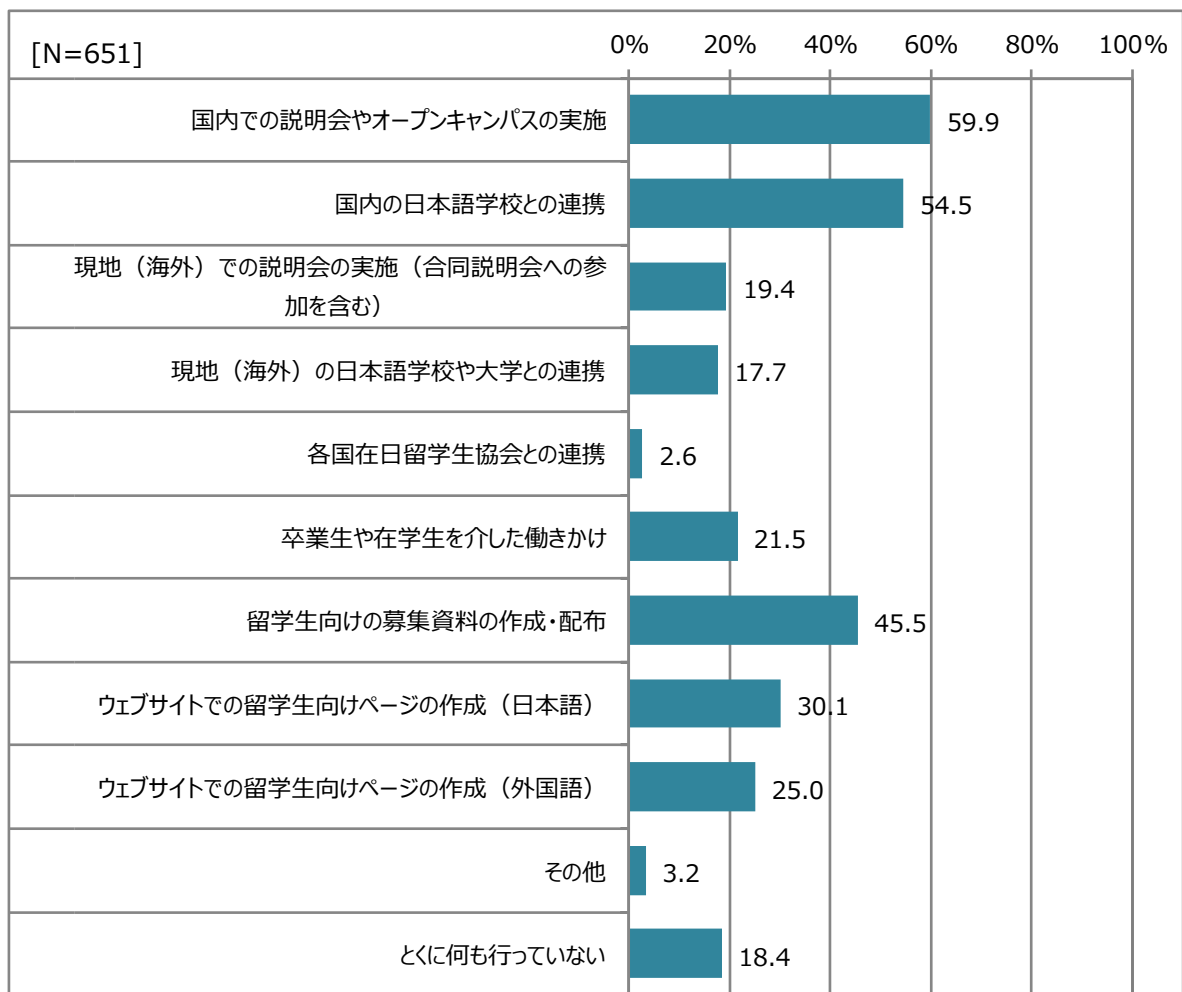


図 2-25 具体的な募集方法（複数選択）

(4) 留学生の入学選抜にあたっての確認点

問 14 留学生の入学選抜にあたって確認していることをお答えください。(複数選択)

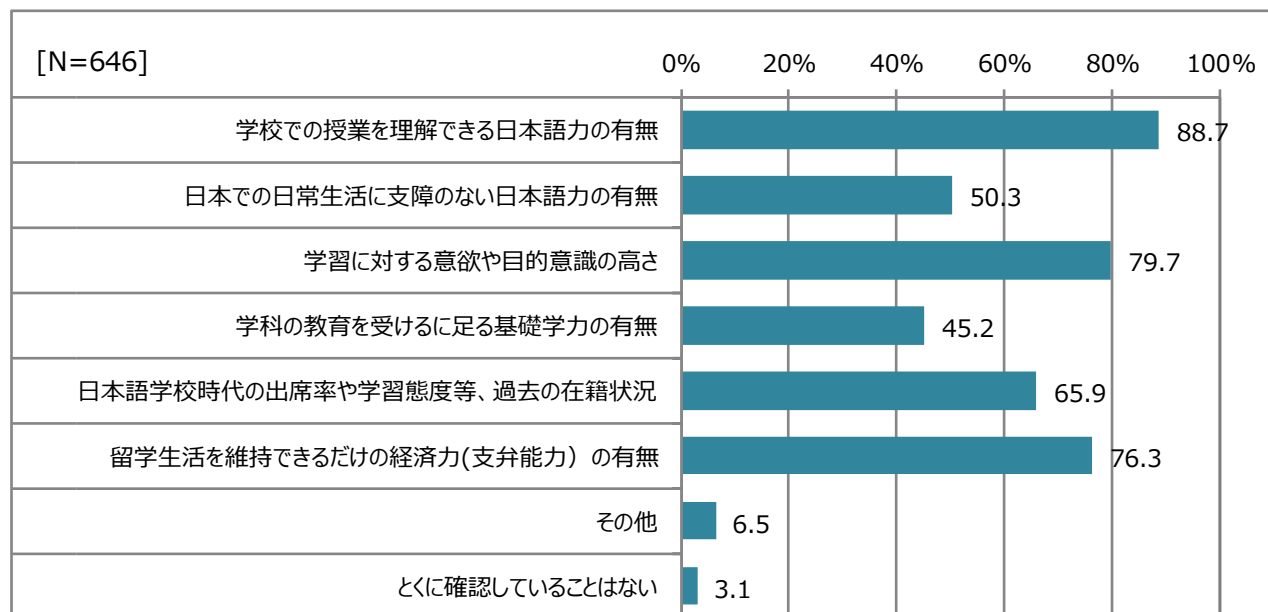


図 2-26 留学生の入学選抜にあたっての確認点 (複数選択)

(5) 留学生の日本語能力に関する選抜基準

問 15 留学生の日本語能力に関する選抜基準をお答えください。(複数選択)

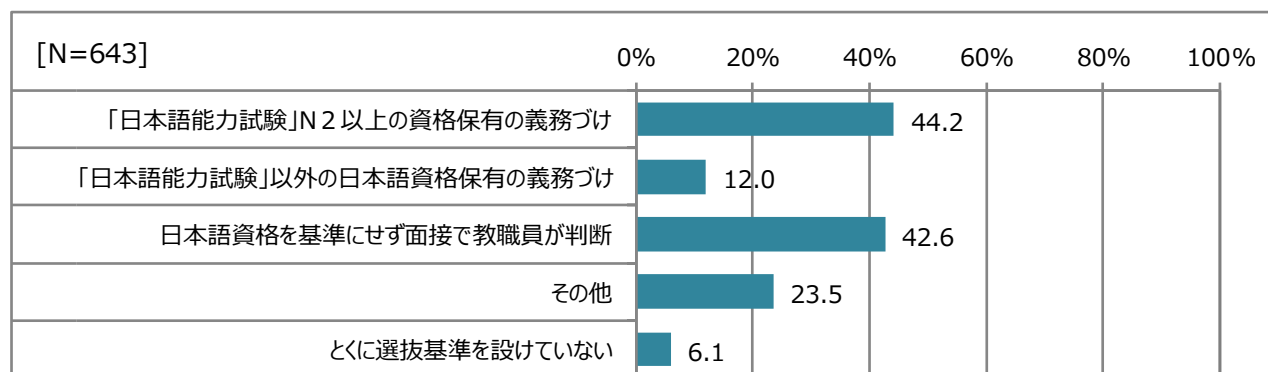


図 2-27 留学生の日本語能力に関する選抜基準 (複数選択)

(6) 日本語学校に対する指定校制度

問 16 日本語学校に対する指定校制度を採用していますか。(単数選択)

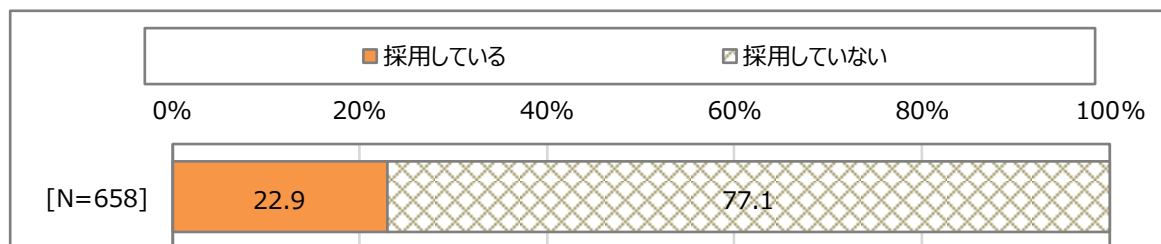


図 2-28 日本語学校に対する指定校制度の有無 (単数選択)

(7) 奨学金の利用

問 17 奨学金の利用について、入学者が最も多く利用している奨学金制度の種類をお答えください。(単数選択)

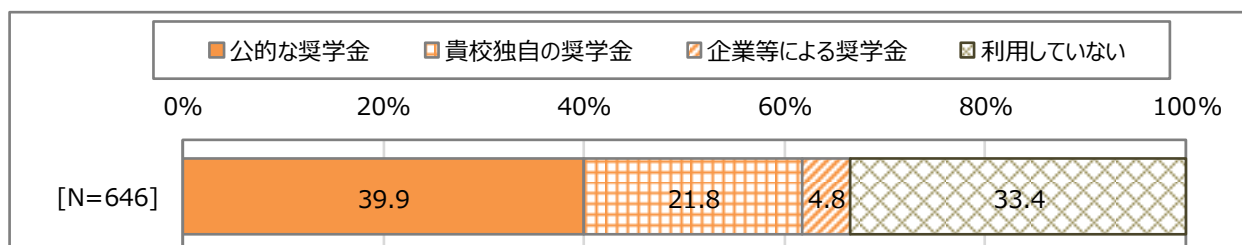


図 2-29 入学者が最も多く利用している奨学金制度の種類 (単数選択)

2.2.4 留学生の学習状況等について

(1) 日本人学生との比較

問 19 以下について、留学生は日本人学生に比べ、どのような状況だと思いますか。全般的な傾向としてご回答ください。(それぞれ○はひとつ) (単数選択)

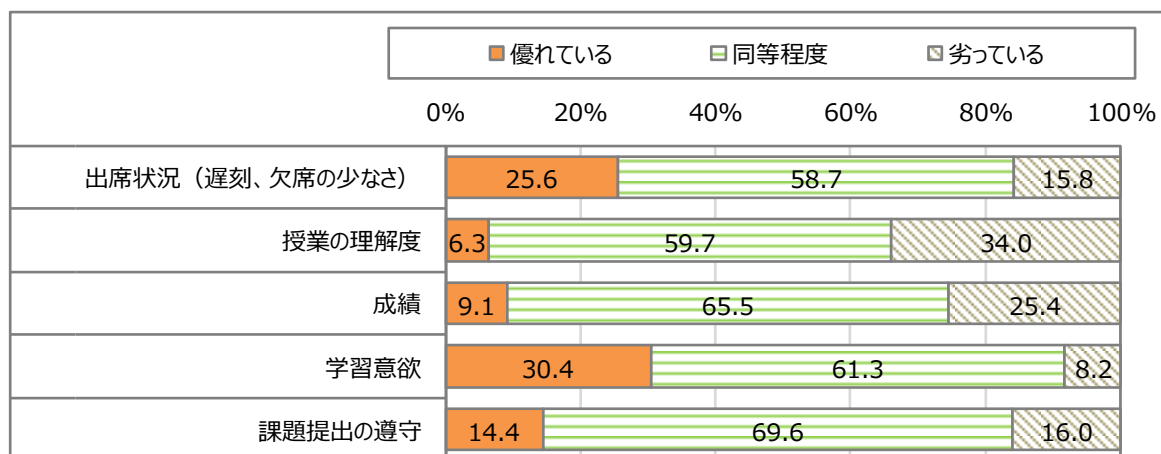


図 2-30 日本人学生と比較した留学生の学習状況等 (それぞれ単数選択)

(2) 留学生の中途退学者数

問 20 留学生の中途退学者数をお答えください。（※休学は含まず、全学年の合計値（2 年制課程の場合は 2 学年分）を対象にご記載ください。）（数値記入）

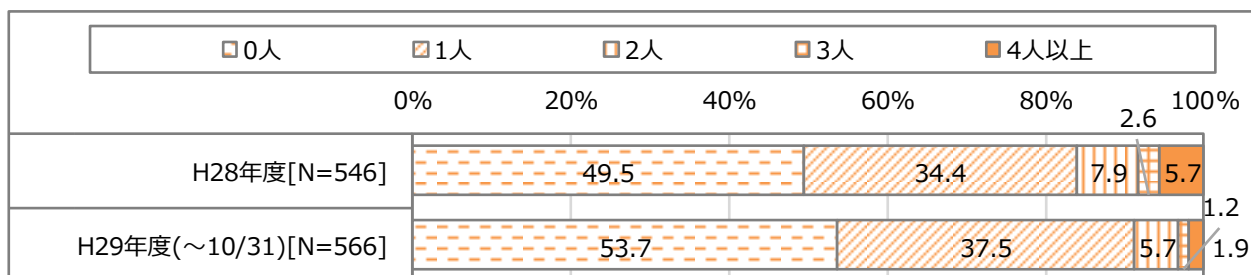


図 2-31 留学生の中途退学者数（数値記入）

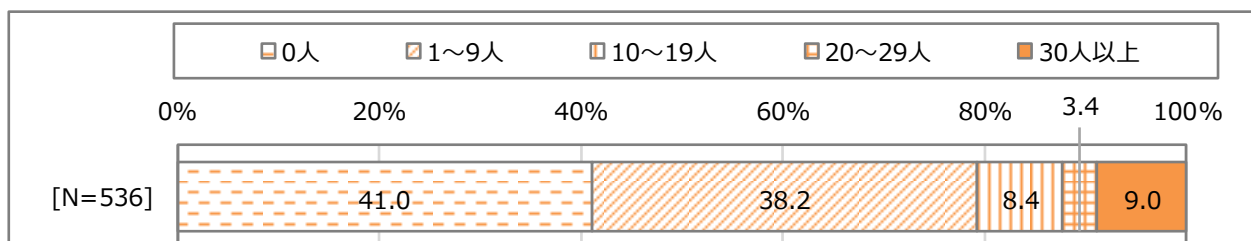


図 2-32 留学生の中途退学者数（平成 28・29 年度計）（数値記入）

(3) 日本語能力の水準

問 21 留学生全体で日本語能力のレベルは授業を進める上で足りていると思いますか。（単数選択）

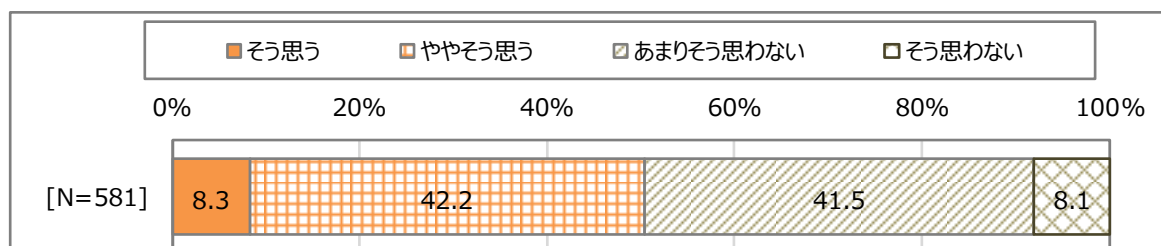


図 2-33 留学生の日本語能力の充足度（単数選択）

2.2.5 学習、生活等に対する支援状況について

(1) 学習、生活等の面での留学生に対する支援

問 22 貴校は学習、生活等の面で留学生に対してどのような支援を行っていますか。(複数選択)

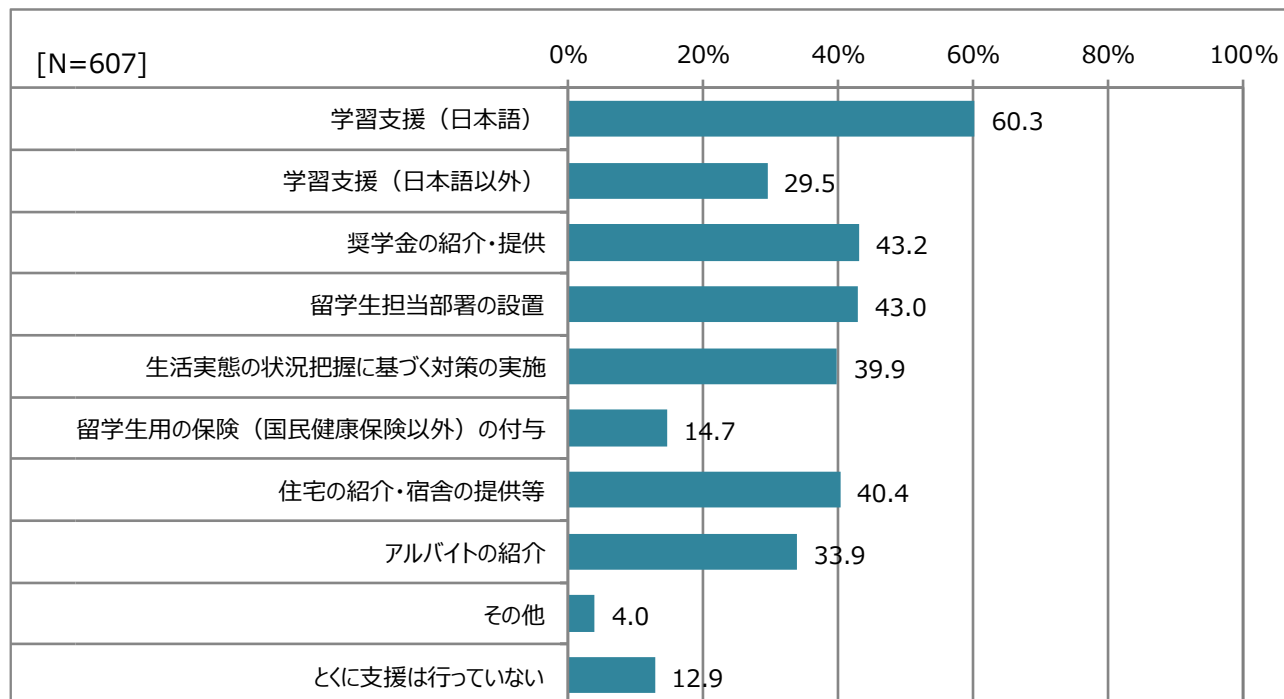


図 2-34 学習・生活等の面での留学生に対する支援 (複数選択)

(2) 日本語能力向上のための対策

問 23 (問 22 で「1. 学習支援 (日本語)」を選択された方に伺います) 留学生に対して、日本語能力向上のためにどのような対策を実施していますか。(複数選択)

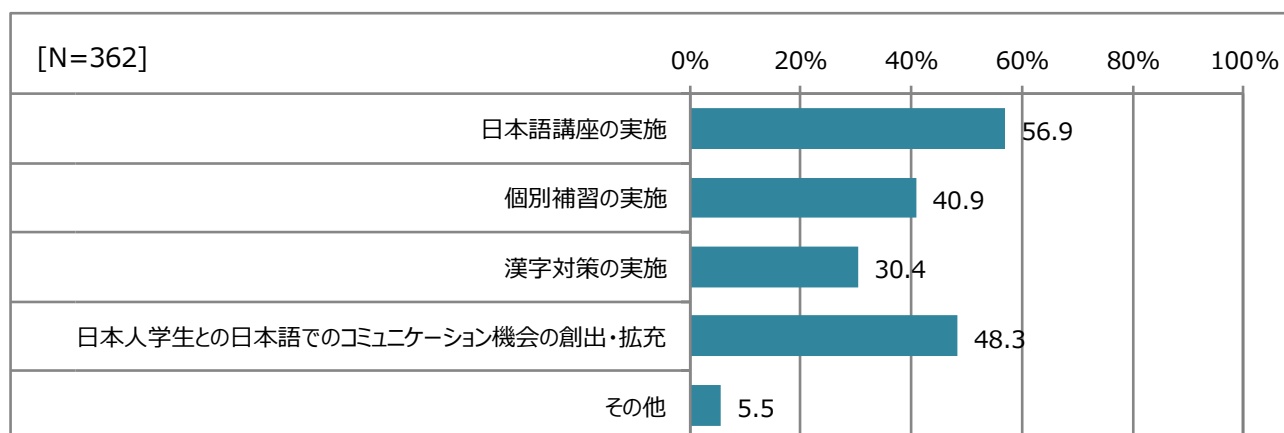


図 2-35 日本語能力向上のために実施している対策 (複数選択)

(3) 留学生のアルバイトの指導及び実態把握

問 24 留学生のアルバイトの指導及び実態把握についてどの程度行っていますか。(複数選択)

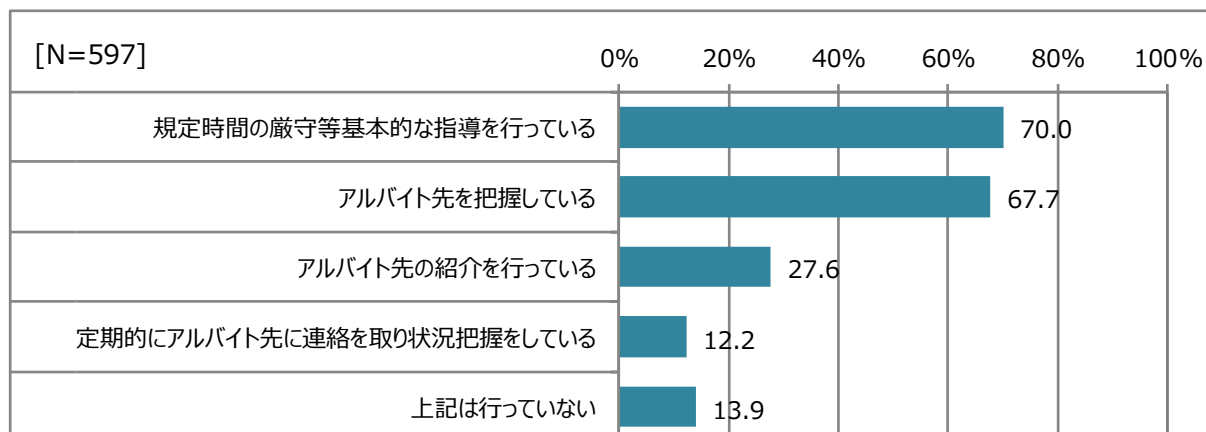


図 2-36 留学生のアルバイト指導及び実態把握状況 (複数選択)

(4) 留学生に期待されている支援

問 25 留学生はどのような支援を期待しているとお考えですか。(複数選択)

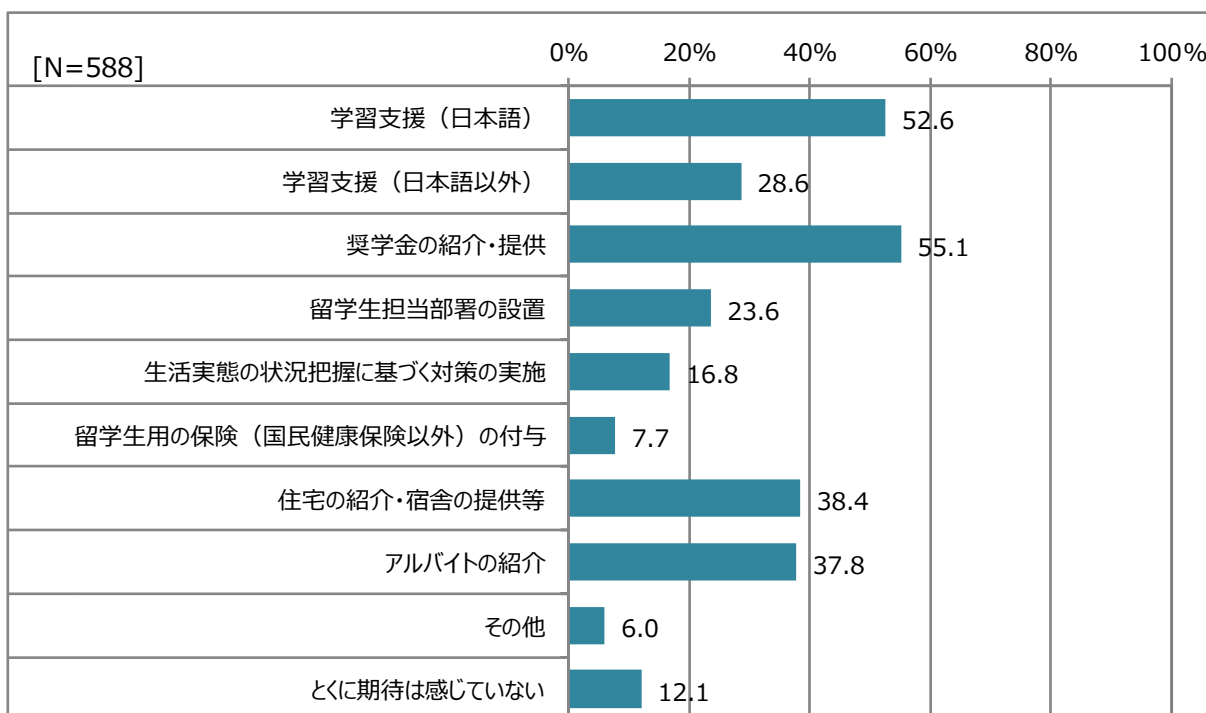


図 2-37 留学生が期待していると考えられる支援 (複数選択)

2.2.6 留学生による企業内実習の参加実績について

(1) 留学生の企業内実習への参加実績

問 26 直近 2 年間に於ける留学生の企業内実習への参加実績についてあてはまるものを教えてください。(複数選択)

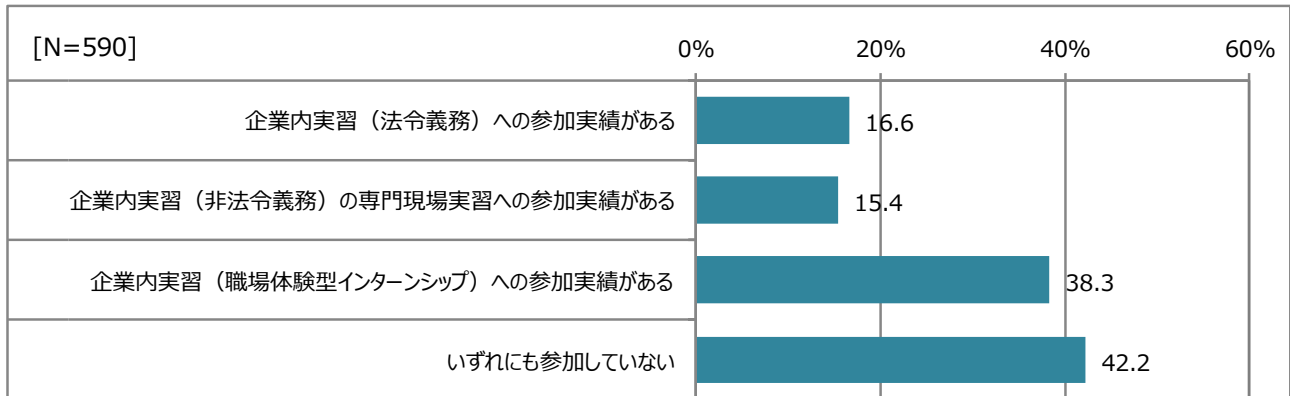


図 2-38 直近 2 年間に於ける留学生の企業内実習への参加実績（複数選択）

(2) 企業内実習での留学生の受入れ意向

問 27 企業内実習において留学生を受入れたいという企業等は増えていると思いますか。(単数選択)

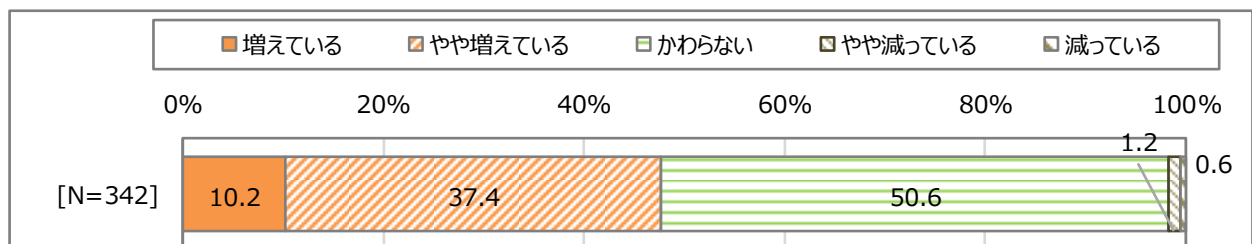


図 2-39 留学生の企業内実習の受入れ企業等の増減に対する認識（単数選択）

(3) 留学生が参加可能な企業内実習の受入企業の開拓方法

問 28 留学生が参加可能な企業内実習の受入企業を探すために行っていることをお答えください。
(複数選択)

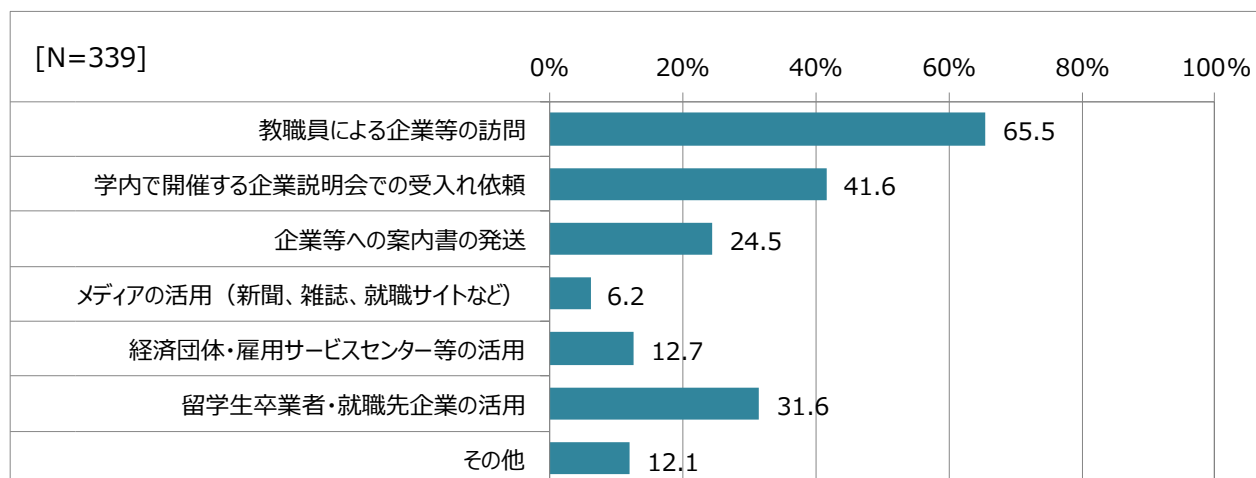


図 2-40 留学生が参加可能な企業内実習の受入企業開拓のための取組 (複数選択)

(4) 留学生が参加する企業内実習の実施上の課題等

問 29 留学生が参加する企業内実習の実施上の課題、あるいは留学生の企業内実習への参加実績がない理由について、とくに日本人学生が参加する企業内実習への対応以上に難しいことを教えてください。(複数選択)

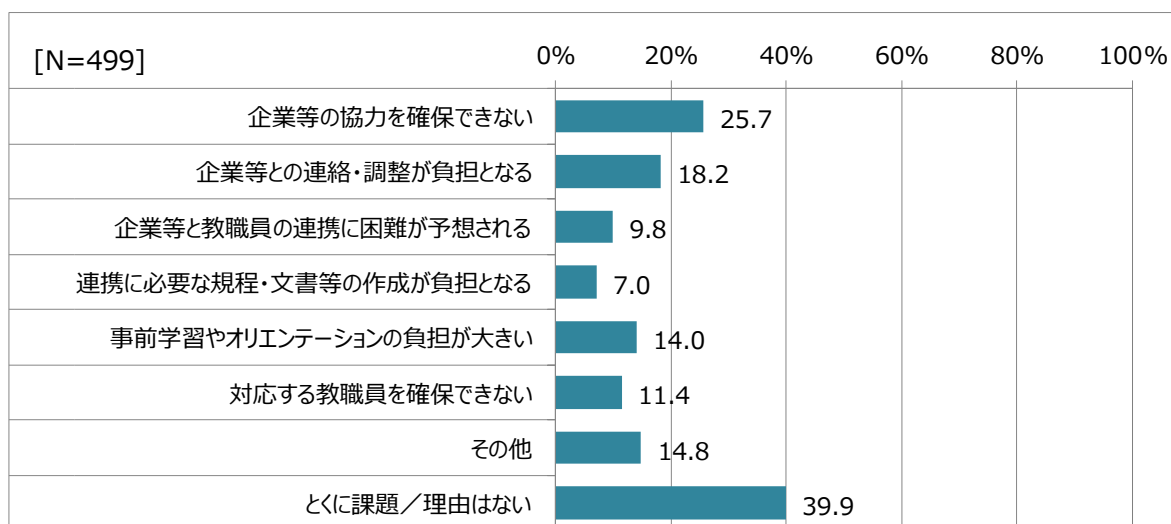
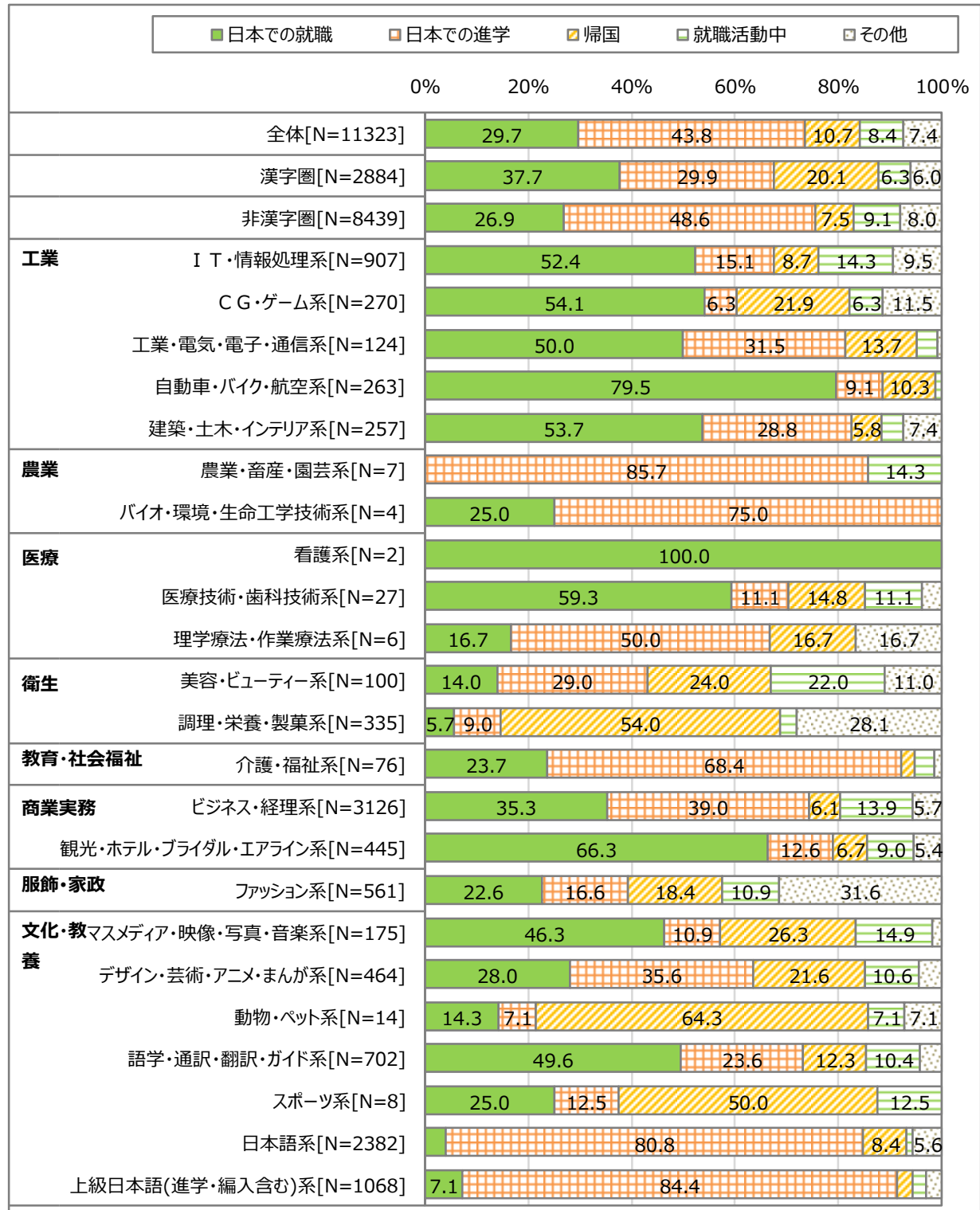


図 2-41 企業内実習の実施上の課題、あるいは企業内実習への参加実績がない理由 (複数選択)

2.2.7 留学生の就職状況等について

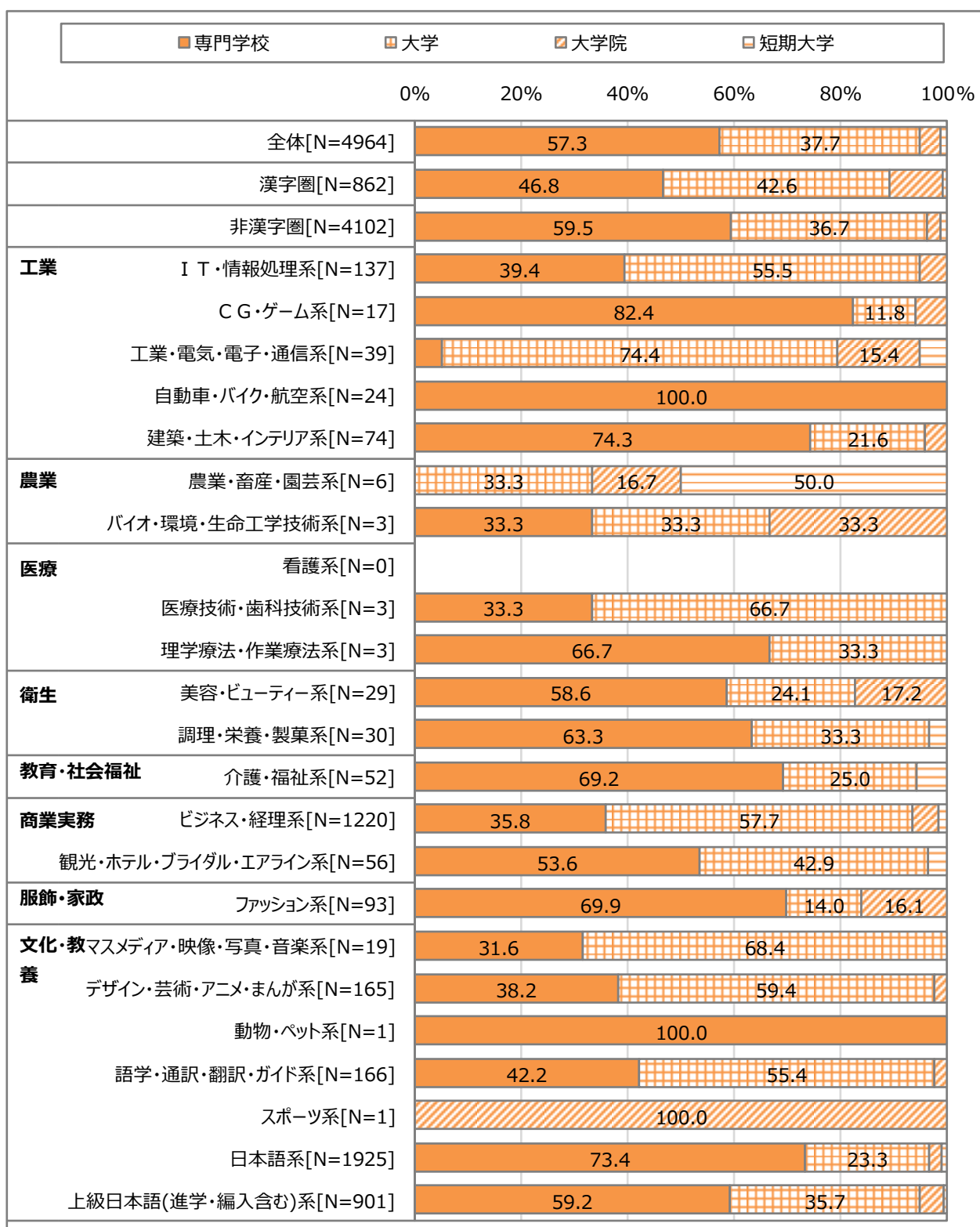
(1) 進路別留学生数

問 30 平成 28 年度（平成 29 年 3 月）に卒業した進路別留学生人数を、学科系統別、出身地域別にご記入ください。（単位：人）（数値記入）



注) 割合が 5%未満の数値は非表示

図 2-42 漢字圏／非漢字圏、学科系統別の進路（数値記入）



注) 割合が 10%未満の数値は非表示

図 2-43 漢字圏／非漢字圏、学科系統別の進学先（数値記入）

(2) 留学生の職種別就職者数

問 31 平成 28 年度（平成 29 年 3 月）に卒業した留学生の就職先職種別人数を、学科系統別、出身地域別にご記入ください。（単位：人）

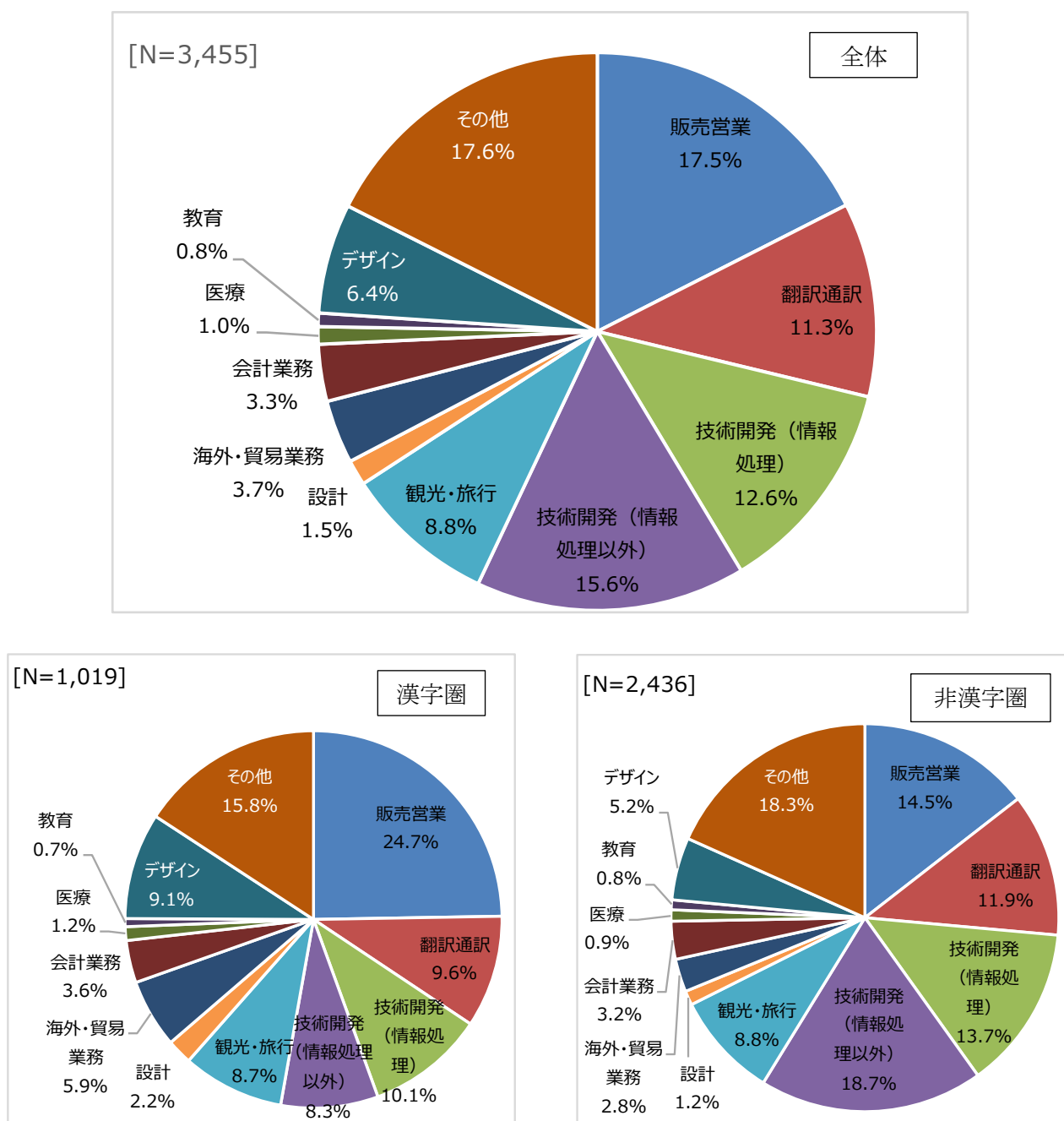


図 2-44 職種別の就職者の割合（数値記入）

表 2-1 漢字圏／非漢字圏、学科系統別の職種別就職者数（数値記入）

地域／学科系統	販売営業	翻訳通訳	技術開発 (情報処理)	技術開発 (情報処理以)	観光・旅行	設計	海外・貿易業務	会計業務	医療	教育	デザイン	その他	計
全体	605	389	436	540	304	51	127	114	35	27	220	607	3,455
漢字圏	252	98	103	85	89	22	60	37	12	7	93	161	1,019
非漢字圏	353	291	333	455	215	29	67	77	23	20	127	446	2,436
I T・情報処理系	13	18	234	119	3	3	2	3	0	0	0	29	424
C G・ゲーム系	0	1	42	33	0	0	0	0	0	0	59	3	138
工業・電気・電子・通信系	0	0	2	65	0	11	0	1	0	0	0	2	81
自動車・バイク・航空系	15	0	0	160	0	1	0	0	0	0	0	6	182
建築・土木・インテリア系	3	8	0	84	0	30	0	0	0	0	2	1	128
農業・畜産・園芸系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バイオ・環境・生命工学技術系	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
看護系	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
医療技術・歯科技術系	1	0	0	1	0	0	0	0	12	0	0	3	17
理学療法・作業療法系	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
美容・ビューティー系	5	6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	16
調理・栄養・製菓系	2	2	0	0	2	0	1	0	0	0	0	5	12
介護・福祉系	0	0	0	0	0	0	0	0	6	5	0	8	19
ビジネス・経理系	344	164	43	18	32	1	51	98	2	11	1	272	1,037
観光・ホテル・ブライダル・エアライン系	28	6	0	0	202	0	7	0	0	1	0	64	308
ファッション系	44	4	4	0	0	1	0	1	0	0	46	29	129
マスメディア・映像・写真・音楽系	5	2	0	4	1	0	0	0	0	0	19	49	80
デザイン・芸術・アニメ・まんが系	3	1	2	1	0	0	0	0	0	2	91	32	132
動物・ペット系	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	5
語学・通訳・翻訳・ガイド系	95	88	2	4	34	4	23	9	7	7	1	65	339
スポーツ系	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
日本語系	35	54	102	47	27	0	30	2	4	1	0	22	324
上級日本語(進学・編入含む)系	9	34	5	2	3	0	10	0	0	0	1	11	75

(3) 企業による留学生の採用意欲

問 32 企業による留学生の採用意欲についてお答えください。留学生を採用したいという企業が増えていると思われますか。(単数選択)

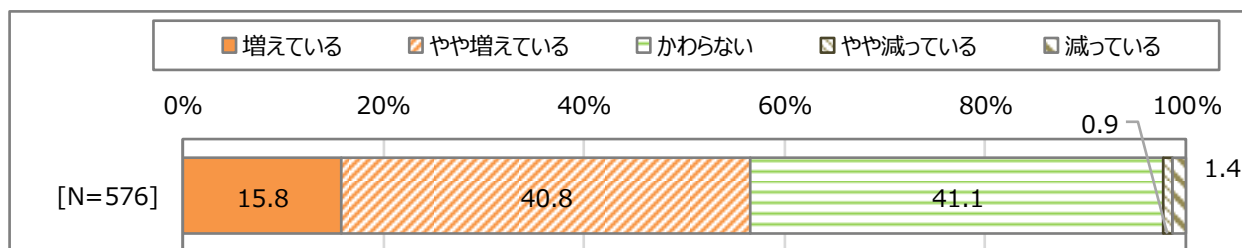


図 2-45 留学生の採用企業等の増減に対する認識 (単数選択)

(4) 留学生の就職促進のための対策

問 33 留学生の就職に向けて、どのような対策を実施されていますか。(複数選択)

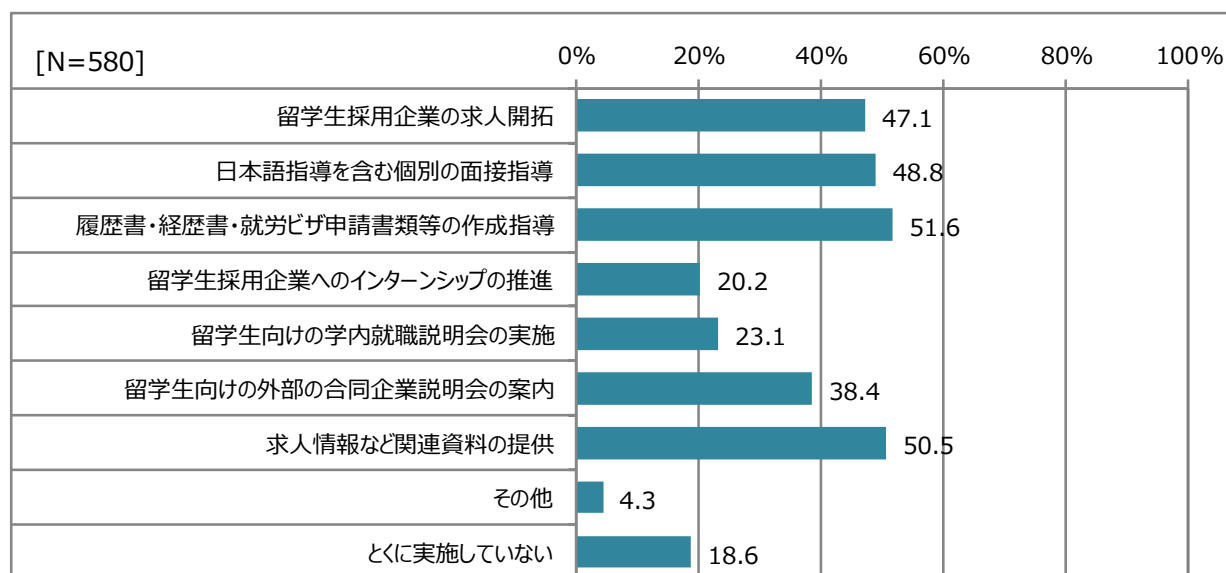


図 2-46 留学生の就職支援策 (複数選択)

(5) 在留資格の問題で就労ビザが下りなかったケースの有無

問 34 平成 28 年度 (平成 29 年 3 月) に卒業した留学生のうち、企業等から内定を受けたにもかかわらず、在留資格の問題で就労ビザが下りなかったケースの有無をお答えください。(単数選択)

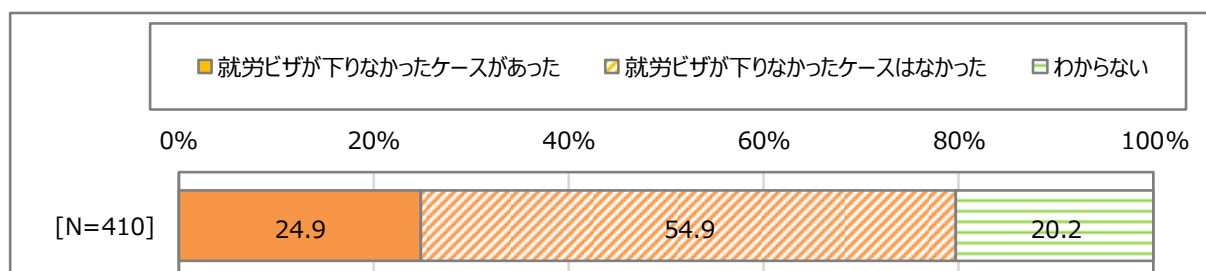


図 2-47 就労ビザが下りなかったケースの有無 (単数選択)

(6) 留学生の受入れ等の促進に当たり解決すべき課題

問 37 留学生の受入れ／教育／就職支援等（以下、受入れ等）の促進に当たり解決すべき課題をお答えください。（重要と思われるもの上位3つまでに○）

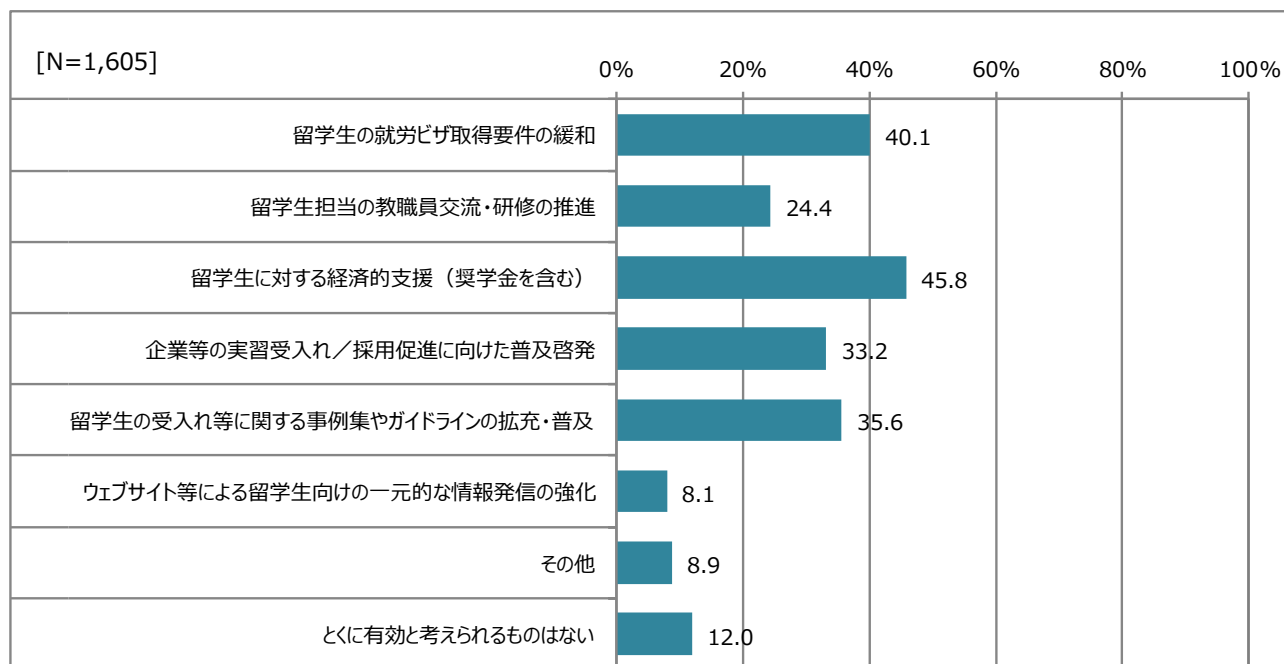


図 2-48 留学生の受入れ等の促進に当たり解決すべき課題（上位3つまで選択）

(7) 今後の取り組み

問 38 今後貴校として具体的に取り組みたい活動をお答えください。（複数選択）

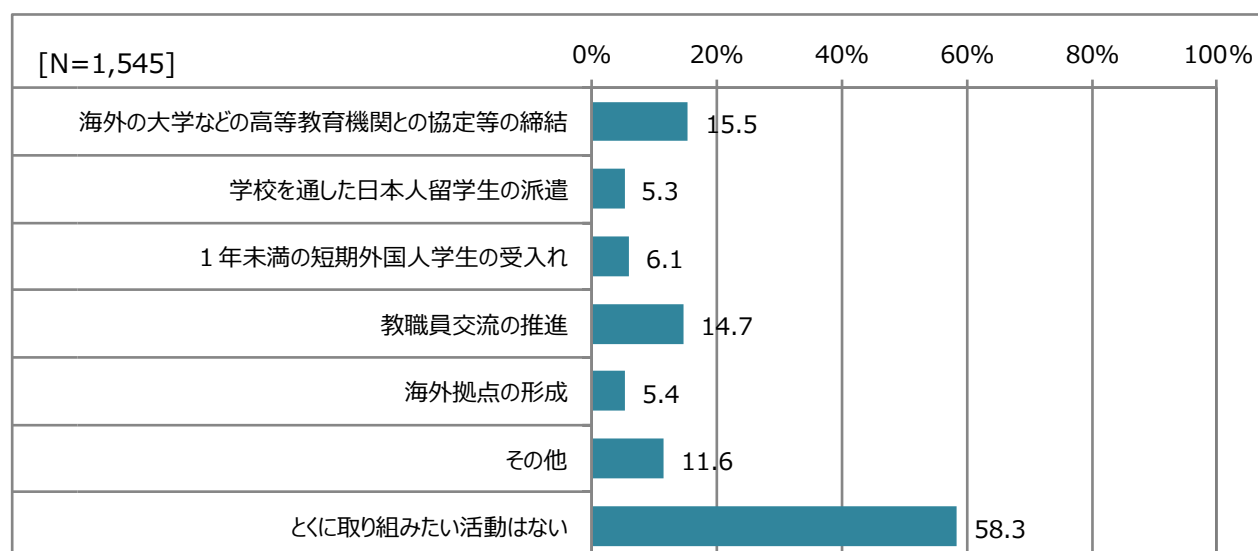


図 2-49 今後具体的に取り組みたい活動（複数選択）

平成 29 年度 専門学校における留学生受入れ等実態に関するアンケート調査 調査票

※本アンケートにおける留学生とは、在留資格が〔留学〕である学生を指します。

①「留学生受入れ名簿」のホームページへの掲載可否を教えてください。 ※	1. 掲載可	2. 掲載不可
②本調査の報告書送付を希望しますか。	1. 希望する	2. 希望しない

※ご回答結果に基づき作成する「留学生受入れ名簿」は、右記に掲載する予定です。 <http://www.sgec.or.jp/ryuugakuguide/>

※名簿には、貴校所在地（都道府県）、学校名、HP アドレス、留学生を受入れる主な分野・学科、郵便番号、住所、電話番号を掲載予定です。

※昨年度に作成した名簿は、右記の URL よりダウンロードいただけます。 http://www.sgec.or.jp/ryuugakuguide/img/2018_meibo.pdf

学校名	
学校名（英文表記）	
ホームページアドレス	http://
電話番号	() -
ご回答者名	
所属部署	

※「個人情報の取扱いについて」（別紙をご参照）に同意の上、ご記入ください

貴校について伺います。

問 1 留学生を受入れる学科について、回答例をご参考のうえ、該当する学科系統に、学科数と学科名をご記入ください。

学科系統		留学生を受入れる学科数と学科名	
		学科数	学科名
	回答例	2	●●学科 / ●●学科
工業	I T・情報処理系		
	C G・ゲーム系		
	工業・電気・電子・通信系		
	自動車・バイク・航空系		
	建築・土木・インテリア系		
農業	農業・畜産・園芸系		
	バイオ・環境・生命工学技術系		
医療	看護系		
	医療技術・歯科技術系		
	理学療法・作業療法系		
衛生	美容・ビューティー系		
	調理・栄養・製菓系		
教育・社会福祉	介護・福祉系		
商業実務	ビジネス・経理系		
	観光・ホテル・ブライダル・エアライン系		
服飾・家政	ファッション系		
文化・教養	マスメディア・映像・写真・音楽系		
	デザイン・芸術・アニメ・まんが系		
	動物・ペット系		
	語学・通訳・翻訳・ガイド系		
	スポーツ系		
	日本語系		
	上級日本語(進学・編入含む)系		

問 2 留学生担当の教職員数についてお答えください。(数値記入)

留学生担当の教職員数(平成 29 年 5 月 1 日時点)	() 人
-------------------------------	----------------------------

※ここでの留学生担当の教職員とは、「専門学校の留学に係る在留資格の取得に必要な、外国人学生の生活の指導を担当する常勤の教職員」とします。

問 3 学校全体の学生数についてお答えください。(数値記入)

学生総定員(平成 29 年 5 月 1 日時点)	() 人
学生実員(平成 29 年 5 月 1 日時点)	() 人

留学生の在籍状況等について伺います。

問 4 留学生の在籍状況についてお答えください。(○はひとつ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 留学生が在籍している | →問 5 におすすめください。 |
| 2. 留学生は在籍していない | →問 7 におすすめください。 |

問 5 (問 4 で「1. 留学生が在籍している」と回答された方に伺います) 今後の留学生の受入れに関する方針に最も近いものを 1 つ選択してください。

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. 増員する方針である | 2. 現状と同様に受入れる方針である |
| 3. 減員する方針である | 4. 今後留学生の募集を停止する予定である |
| 5. とくに方針はない | |

問 6 (問 4 で「1. 留学生が在籍している」と回答された方に伺います) 現在在籍している留学生の修業年限別人数を記入してください。(数値記入)

1 年制学科	1.5 年制学科	2 年制学科	3 年制学科	4 年制学科
人	人	人	人	人

→問 9 におすすめください。

問 7 (問 4 で「2. 留学生は在籍していない」と回答された方に伺います) 今後の留学生の受入れに関する方針に最も近いものを 1 つ選択してください。

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 積極的に募集活動したい | 2. 留学希望者がいれば受入れる |
| 3. 受入れを検討中である | 4. 今後も受入れる予定はない |
| 5. とくに方針はない | |

問 8 (問 4 で「2. 留学生は在籍していない」と回答された方に伺います) 留学生が在籍していない理由をお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 1. 留学生の入学希望者がいないため | 2. 学校側の受入体制や環境が整っていないため |
| 3. 学校の方針としているため | 4. 留学生の日本語能力や生活対応力に不安があるため |
| 5. 卒業後の就職が困難なため(就労ビザの問題) | 6. 国家試験の受験資格に該当しないため |
| 7. その他 | |

→問 37 におすすめください。

問 9 出身国別に、入学経路、母国での最終学歴について留学生の入学数と在籍者数（全学年）（いずれも平成 29 年 5 月 1 日現在）をご記入ください。該当する留学生がないセルは空欄で結構です。（単位：人）

出身国・地域		入学経路		母国での最終学歴			
		日本語教育機関 （在日本）経由	現地から直接	大学卒業以上	大学以外の短期 高等教育機関	高校卒業	その他
ベトナム	入学者						
	在籍者						
中国	入学者						
	在籍者						
ネパール	入学者						
	在籍者						
台湾	入学者						
	在籍者						
韓国	入学者						
	在籍者						
ミャンマー	入学者						
	在籍者						
スリランカ	入学者						
	在籍者						
インドネシア	入学者						
	在籍者						
タイ	入学者						
	在籍者						
モンゴル	入学者						
	在籍者						
フィリピン	入学者						
	在籍者						
インド	入学者						
	在籍者						
マレーシア	入学者						
	在籍者						
バングラデシュ	入学者						
	在籍者						
ロシア	入学者						
	在籍者						
カンボジア	入学者						
	在籍者						
〈その他〉	入学者						
	在籍者						

問 10 学科系統別の留学生の入学者数と在籍者数（全学年）（いずれも平成 29 年 5 月 1 日現在）をご記入ください。（単位：人）

※該当する留学生がいない、または留学生を受入れていない学科系統については空欄で結構です。

学科系統			出身国・地域															
			ベトナム	中国	ネパール	台湾	韓国	ミャンマー	スリランカ	インドネシア	タイ	モンゴル	フィリピン	インド	マレーシア	バングラデシュ	ロシア	カンボジア
工業	I T・情報処理系	入学者																
		在籍者																
	C G・ゲーム系	入学者																
		在籍者																
	工業・電気・電子・通信系	入学者																
		在籍者																
	自動車・バイク・航空系	入学者																
		在籍者																
	建築・土木・インテリア系	入学者																
		在籍者																
農業	農業・畜産・園芸系	入学者																
		在籍者																
	バイオ・環境・生命工学技術系	入学者																
		在籍者																
医療	看護系	入学者																
		在籍者																
	医療技術・歯科技術系	入学者																
		在籍者																
	理学療法・作業療法系	入学者																
		在籍者																
衛生	美容・ビューティー系	入学者																
		在籍者																
	調理・栄養・製菓系	入学者																
		在籍者																
教育・社会福祉	介護・福祉系	入学者																
		在籍者																
商業実務	ビジネス・経理系	入学者																
		在籍者																
	観光・ホテル・ブライダル・エアライン系	入学者																
		在籍者																
服飾・家政	ファッション系	入学者																
		在籍者																
文化・教養	マスメディア・映像・写真・音楽系	入学者																
		在籍者																
	デザイン・芸術・アニメ・まんが系	入学者																
		在籍者																
	動物・ペット系	入学者																
		在籍者																
	語学・通訳・翻訳・ガイド系	入学者																
		在籍者																
	スポーツ系	入学者																
		在籍者																
	日本語系	入学者																
		在籍者																
	上級日本語(進学・編入含む)系	入学者																
		在籍者																

留学生の募集、広報、選抜について伺います。

問 11 留学生の募集に関する計画や方針の有無をお答えください。(○はひとつ)

※ここでいう計画とは、募集・受入れの方針、及びそれに関わる目標、体制、活動、スケジュール等に関する明文化された文書とします。

- | | | |
|--------------|----------------------|-------------|
| 1. 計画を作成している | 2. 方針はあるが、計画は作成していない | 3. 方針も計画もない |
|--------------|----------------------|-------------|

問 12 今後、募集を積極的に進めたいと考える学生の出身国・地域を教えてください。(○はいくつでも)

- | | | | | | |
|-----------|-------------|---------|-----------|-----------|-----------|
| 1. ベトナム | 2. 中国 | 3. ネパール | 4. 台湾 | 5. 韓国 | 6. ミャンマー |
| 7. スリランカ | 8. インドネシア | 9. タイ | 10. モンゴル | 11. フィリピン | 12. インド |
| 13. マレーシア | 14. バングラデシュ | 15. ロシア | 16. カンボジア | 17. その他 | 18. とくにない |

問 13 具体的な募集方法を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------|
| 1. 国内での説明会やオープンキャンパスの実施 | 2. 国内の日本語学校との連携 |
| 3. 現地（海外）での説明会の実施（合同説明会への参加を含む） | 4. 現地（海外）の日本語学校や大学との連携 |
| 5. 各国在日留学生協会との連携 | 6. 卒業生や在学生を介した働きかけ |
| 7. 留学生向けの募集資料の作成・配布 | 8. ウェブサイトでの留学生向けページの作成（日本語） |
| 9. ウェブサイトでの留学生向けページの作成（外国語） | 10. その他 |
| 11. とくに何も行っていない | |

問 14 留学生の入学選抜にあたって確認していることをお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|-------------------------------|
| 1. 学校での授業を理解できる日本語力の有無 | 2. 日本での日常生活に支障のない日本語力の有無 |
| 3. 学習に対する意欲や目的意識の高さ | 4. 学科の教育を受けるに足る基礎学力の有無 |
| 5. 日本語学校時代の出席率や学習態度等、過去の在籍状況 | 6. 留学生生活を維持できるだけの経済力(支弁能力)の有無 |
| 7. その他 | 8. とくに確認していることはない |

問 15 留学生の日本語能力に関する選抜基準をお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1. 「日本語能力試験」N2以上の資格保有の義務づけ | 2. 「日本語能力試験」以外の日本語資格保有の義務づけ |
| 3. 日本語資格を基準にせず面接で教職員が判断 | 4. その他 |
| 5. とくに選抜基準を設けていない | |

問 16 日本語学校に対する指定校制度を採用していますか。(○はひとつ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 採用している | 2. 採用していない |
|-----------|------------|

問 17 奨学金の利用について、入学者が最も多く利用している奨学金制度の種類をお答えください。(○はひとつ)

- | | | | |
|-----------|-------------|--------------|------------|
| 1. 公的な奨学金 | 2. 貴校独自の奨学金 | 3. 企業等による奨学金 | 4. 利用していない |
|-----------|-------------|--------------|------------|

問 18 留学生の募集、広報、選抜上の課題等があれば、ご記入ください。

--

留学生の学習状況等について伺います。

問 19 以下について、留学生は日本人学生に比べ、どのような状況だと思いますか。全般的な傾向としてご回答ください。(それぞれ○はひとつ)

	1.優れている	2.同等程度	3.劣っている
1. 出席状況（遅刻、欠席の少なさ）	1	2	3
2. 授業の理解度	1	2	3
3. 成績	1	2	3
4. 学習意欲	1	2	3
5. 課題提出の遵守	1	2	3

問 20 留学生の中途退学者数をお答えください。（※休学は含まず、全学年の合計値（2 年制課程の場合は 2 学年分）を対象にご記載ください。）

留学生の中途退学者数（平成 28 年度）	（ ） 人
留学生の中途退学者数（平成 29 年度（4/1～10/31 まで））	（ ） 人

問 21 留学生全体で日本語能力のレベルは授業を進める上で足りていると思いますか。（○はひとつ）

1. そう思う	2. ややそう思う	3. あまりそう思わない	4. そう思わない
---------	-----------	--------------	-----------

留学生の学習、生活等に対する支援状況について伺います。

問 22 貴校は学習、生活等の面で留学生に対してどのような支援を行っていますか。（○はいくつでも）

1. 学習支援（日本語）	2. 学習支援（日本語以外）
3. 奨学金の紹介・提供	4. 留学生担当部署の設置
5. 生活実態の状況把握に基づく対策の実施	6. 留学生用の保険（国民健康保険以外）の付与
7. 住宅の紹介・宿舍の提供等	8. アルバイトの紹介
9. その他 （具体的に： ）	10. とくに支援は行っていない

問 23 （問 22 で「1. 学習支援（日本語）」を選択された方に伺います）留学生に対して、日本語能力向上のためにどのような対策を実施していますか。（○はいくつでも）

1. 日本語講座の実施	2. 個別補習の実施
3. 漢字対策の実施	4. 日本人学生との日本語でのコミュニケーション機会の創出・拡充
5. その他	

問 24 留学生のアルバイトの指導及び実態把握についてどの程度行っていますか。（○はいくつでも）

1. 規定時間の厳守等基本的な指導を行っている	2. アルバイト先を把握している
3. アルバイト先の紹介を行っている	4. 定期的にアルバイト先に連絡を取り状況把握をしている
5. 1～4 は行っていない	

問 25 留学生はどのような支援を期待しているとお考えですか。（○はいくつでも）

1. 学習支援（日本語）	2. 学習支援（日本語以外）
3. 奨学金の紹介・提供	4. 留学生担当部署の設置
5. 生活実態の状況把握に基づく対策の実施	6. 留学生用の保険（国民健康保険以外）の付与
7. 住宅の紹介・宿舍の提供等	8. アルバイトの紹介
9. その他 （具体的に： ）	10. とくに期待は感じていない

留学生による企業内実習（※）の参加実績について伺います。

※ここでいう「企業内実習」は、企業・施設等（以下、企業等）において行われる専門現場実習や、職場体験型インターンシップを指します。なお、ここでは修業年限内の正規課程すべてにおける活動を対象としてください（必修か否かは問いません）。

問 26 直近 2 年間における留学生の企業内実習への参加実績についてあてはまるものを教えてください。（○はいくつでも）

1. 企業内実習（法令義務）への参加実績がある	2. 企業内実習（非法令義務）の専門現場実習への参加実績がある
3. 企業内実習（職場体験型インターンシップ）への参加実績がある	4. いずれにも参加していない → 問 29 にすすみください。

問 27 企業内実習において留学生を受入れたいという企業等は増えていると思いますか。（○はひとつ）

1. 増えている	2. やや増えている	3. かわらない	4. やや減っている	5. 減っている
----------	------------	----------	------------	----------

問 28 留学生が参加可能な企業内実習の受入企業を探すために行っていることをお答えください。（○はいくつでも）

1. 教職員による企業等の訪問	2. 学内で開催する企業説明会での受入れ依頼
3. 企業等への案内書の発送	4. メディアの活用（新聞、雑誌、就職サイトなど）
5. 経済団体・雇用サービスセンター等の活用	6. 留学生卒業生・就職先企業の活用
7. その他	

問 29 留学生が参加する企業内実習の実施上の課題、あるいは留学生の企業内実習への参加実績がない理由について、とくに日本人学生が参加する企業内実習への対応以上に難しいことを教えてください。（〇はいくつでも）

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 企業等の協力を確保できない | 2. 企業等との連絡・調整が負担となる |
| 3. 企業等と教職員の連携に困難が予想される | 4. 連携に必要な規程・文書等の作成が負担となる |
| 5. 事前学習やオリエンテーションの負担が大きい | 6. 対応する教職員を確保できない |
| 7. その他 | 8. とくに課題／理由はない |

留学生の就職状況等について伺います。

問 30 平成 28 年度（平成 29 年 3 月）に卒業した進路別留学生人数を、学科系統別、出身地域別にご記入ください。（単位：人）

		卒業後の進路別内訳								
		日本で就職		日本で進学				帰国	就職活動中	その他
		就職希望者数	就職した数	1.専門学校	2.大学	3.大学院	4.短期大学			
学科系統別										
工業	I T・情報処理系									
	C G・ゲーム系									
	工業・電気・電子・通信系									
	自動車・バイク・航空系									
	建築・土木・インテリア系									
農業	農業・畜産・園芸系									
	バイオ・環境・生命工学技術系									
医療	看護系									
	医療技術・歯科技術系									
	理学療法・作業療法系									
衛生	美容・ビューティー系									
	調理・栄養・製菓系									
教育・社会福祉	介護・福祉系									
商業実務	ビジネス・経理系									
	観光・ホテル・ブライダル・エアライン系									
服飾・家政	ファッション系									
文化・教養	マスメディア・映像・写真・音楽系									
	デザイン・芸術・アニメ・まんが系									
	動物・ペット系									
	語学・通訳・翻訳・ガイド系									
	スポーツ系									
	日本語系									
	上級日本語(進学・編入含む)系									
出身地域別										
中国、台湾と韓国出身の留学生の合計										

問 31 平成 28 年度（平成 29 年 3 月）に卒業した留学生の就職先職種別人数を、学科系統別、出身地域別にご記入ください。（単位：人）

		販売 営業	翻訳 通訳	技術・開発 情報処 理分野	技術・開発 情報処 理分野 以外	観光・ 旅行	設計	海 外・ 貿易 業務	会計 業務	医療	教育	デザイ ン	その他
学科系統別													
工業	I T・情報処理系												
	C G・ゲーム系												
	工業・電気・電子・通信系												
	自動車・バイク・航空系												
	建築・土木・インテリア系												
農業	農業・畜産・園芸系												
	バイオ・環境・生命工学技術系												
医療	看護系												
	医療技術・歯科技術系												
	理学療法・作業療法系												
衛生	美容・ビューティー系												
	調理・栄養・製菓系												
教育・ 社会福祉	介護・福祉系												
商業実務	ビジネス・経理系												
	観光・ホテル・ブライダル・エアライ ン系												
服飾・家政	ファッション系												
文化・教養	マスメディア・映像・写真・音楽系												
	デザイン・芸術・アニメ・まんが系												
	動物・ペット系												
	語学・通訳・翻訳・ガイド系												
	スポーツ系												
	日本語系												
	上級日本語(進学・編入含む) 系												
出身地域別													
中国、台湾と韓国出身の留学生の合計													

※上記の職種は、法務省発表の「平成 28 年における留学生の日本企業等への就職状況について」で分類されている職種に準拠しています。

問 32 企業による留学生の採用意欲についてお答えください。留学生を採用したいという企業が増えていると思われますか。(○はひとつ)

- | | | | | |
|----------|------------|----------|------------|----------|
| 1. 増えている | 2. やや増えている | 3. かわらない | 4. やや減っている | 5. 減っている |
|----------|------------|----------|------------|----------|

問 33 留学生の就職に向けて、どのような対策を実施されていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 留学生採用企業の求人開拓 | 2. 日本語指導を含む個別の面接指導 |
| 3. 履歴書・経歴書・就労ビザ申請書類等の作成指導 | 4. 留学生採用企業へのインターンシップの推進 |
| 5. 留学生向けの学内就職説明会の実施 | 6. 留学生向けの外部の合同企業説明会の案内 |
| 7. 求人情報など関連資料の提供 | 8. その他 |
| 9. とくに実施していない | |

問 34 平成 28 年度(平成 29 年 3 月)に卒業した留学生のうち、企業等から内定を受けたにもかかわらず、在留資格の問題で就労ビザが下りなかったケースの有無をお答えください。(○はひとつ)

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 就労ビザが下りなかったケースがあった | |
| 2. 就労ビザが下りなかったケースはなかった | →問 36 におすすめください。 |
| 3. わからない | →問 36 におすすめください。 |

問 35 (問 34 で「1. 就労ビザが下りなかったケースがあった」を選択された方に伺います)平成 28 年度(平成 29 年 3 月)に卒業した留学生で企業等から内定を受けたにもかかわらず、在留資格の問題で就労ビザが下りなかった件数をお答えください。

在留資格の問題で就労ビザが下りなかった件数	() 件
-----------------------	-------

問 36 (平成 28 年度(平成 29 年 3 月)に卒業した留学生に限らず)過去に卒業した留学生で在留資格の問題で就労ビザが下りなかった事例があれば、その詳細をお答えください。

(例)「学科の教育内容と内定先の仕事の内容との整合性が審査段階で指摘され、結果的に就労ビザが下りなかった」「同じ業種・業態の企業であるにも係らず、企業の規模や立地等により、就労ビザが下りるケースと下りないケースがあった」等)

問 37 留学生の受入れ／教育／就職支援等(以下、受入れ等)の促進にあたり解決すべき課題をお答えください。

(重要と思われるもの上位 3 つまでに○)

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------|
| 1. 留学生の就労ビザ取得要件の緩和 | 2. 留学生担当の教職員交流・研修の推進 |
| 3. 留学生に対する経済的支援(奨学金を含む) | 4. 企業等の実習受入れ／採用促進に向けた普及啓発 |
| 5. 留学生の受入れ等に関する事例集やガイドラインの拡充・普及 | 6. ウェブサイト等による留学生向けの一元的な情報発信の強化 |
| 7. その他 | 8. とくに有効と考えられるものはない |

問 38 今後貴校として具体的に取り組みたい活動をお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 海外の大学などの高等教育機関との協定等の締結 | 2. 学校を通じた日本人留学生の派遣 |
| 3. 1 年未満の短期外国人学生の受入れ | 4. 教職員交流の推進 |
| 5. 海外拠点の形成 | 6. その他 |
| 7. とくに取り組みたい活動はない | |

問 39 留学生の受入れ等を進めるなかで、その他にご意見があればご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒に封入のうえ、アンケート票をご返送ください。

「平成 29 年度 専門学校における留学生受入れ等実態に関するアンケート調査」
アンケート結果 中間報告

2018 年 3 月

株式会社 三菱総合研究所
科学・安全事業本部
産業イノベーション戦略グループ
TEL (03)6705-6051
担当：ディン、横山